

慰安任務

～下忍と中忍100人抜き～

「アハハ」



落書き差分



魚齒満

ある日、木ノ葉隠れの里の下忍
日向ヒナタに、特殊な任務が
言い渡された……。



里きつての名家の産まれだが
忍の才に恵まれなかった彼女に、
国の大名達から直接声が掛かった。
親交を深めるといふ建前だが、
事実、「慰安任務」と呼ぶべきものであった。
ヒナタは家の名誉のため、単身大名の元へと
悲痛な面持ちで向かうのであった……。

お、お邪魔します
今日はその…
任務って聞いて…

おお、よく来たね
ヒナタちゃん
待ってたよ

カア…

すみません
遅くなって…
ちよつと迷ってしまつた
というか…えっと…


もい
もい

ほお…この娘か
写真で見るとより…
こりやまた立派な…

いやあ…顔も
べっぴんで身体つきも
たまらんな

うう…
あの…に、任務に
ついてお話を…

おお、すまん
皆見とれて
しまつてのお



ヒナタに与えられた「任務」は、
自らの身体を使ってもいい
大名その他「百人」を満足させる
というものだった。

まだ年端もいかぬ
名家の生娘とあって、
性交、いわゆる本番は
禁止されている。

「この大名たちは皆
ある共通の性癖をもち、
貞操が保証されている事は
ヒナタにとって救いだった。

つまり彼らは
ヒナタの年不相応の
身体つきを……。

とりわけその豊満な
乳房を楽しむために
依頼を出した。

「パイズリで
百人の性処理を
行う……」

ヒナタは嫌悪感を
必死に隠しながら
その条件を
受け入れた。

自分が失礼をすると
家にも自分にも
悪い影響が
でてしまう。

健気な少女の
気持ちなど
度外視して、
この男たちは
ヒナタの胸を
執拗にいやらしく
ねちっこい視線で
見続けていた。

ぱ、パイズリ…
つていうのは
なにから始めれば
いいんでしょうか

まずその厚手の上着を
脱がないとおじさん達
おっぱいちゃんと
確認できないでしょ？

う、じゃあ脱げば
いいんですか…？

ドキ
ドキ

そうそう、わし達の
前で服を脱いでみる
ストリップじゃストリップ

今どきの子は
分かんないでしょ
ほら、とりあえず
脱いで「うらん

は、はい…
わかりました…

素直でかわいいの
しっかり見えて
やるからなあ

堂々と自分の
身体を舐め回して
くる視線。

ふうう……

自分の体付きを
隠すために厚手の服を
着ているのに、それを
脱ぐことを強要される。

この異様な状況に
飲まれ、ヒナタの
身体は不本意な熱を
帯び始めていた。

……えっと
ぬ、脱ぎますから
あまり見ないで
ください……

だーめ、

おじさんたちに
しっかり見せないと
駄目だからね、
任務にならないよ？

うう、なんで……
恥ずかしいよお

カマア……

まあ脱がなくても
おっぱい大きいのは
分かるけどね
ムチムチだもん胸周りが

そ、そんなの
知りません……
ひどい……

ズバァッ……

ニキ

ニキ

ニキ

絶対大きいよ
想像しただけで
勃起してきたもん

ぼ……っ！
い、いやっ
困ります！

何言ってるんだね
ヒナタちゃん
チンポ勃起しないと
パイズリ出来ないぞ

そのおっぱいで
チンポ挟んで
気持ちよくさせる
のが任務なんだから

ち、ちん……
うう、それは
そうかもしれない
ですけど……

早く脱げよ
とりあえず上着だけ
でもいいからさあ

脱ぐっ
脱ぎますから
そんなに
見ないで……！

しゅい……

直接男から自分へ
投げかけられる
性的な言葉。

部屋に充満している
男の滾った香り。

自分の大きな胸に
注ぎ込まれる
視線はますます
期待に染まっている。

嫌悪感と羞恥心、
それに少しずつ湧く
性的な興奮を感じて
しまっている自己嫌悪。
ヒナタは逃げ出して
しまいたい程だった。

しかしこれ以上
待たせてしまつては
無理やりにも
脱がされてしまうかも
しれない。

意を決して
ヒナタは上着を
ゆっくりと脱ぎ
始めたのであつた。

じゃあ、ぬ、
脱ぎます…

よよ…

んう…

ぐへへ

ひひひ

おお、ついに
ヒナタちゃんの
生脱ぎっ！

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ア…

まだかいの
まだかいの

うう、そんな風に
見られたら
脱ぎにくいよ…

おお、胸のところで
つかえてるぞ！
どんだけ大きいんだ！

んう…く…
よ、よ、よしよしと

なんど...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

大きく揺れて
現れた薄布越しの
双房に男たちが
どよめく。

ヒナタが上着の
下に来ていたのは、
黒地の地味な肌着。

意図せず見えてしまう
身体のラインが、また
視線を集める……。

カァ…

あの……ちよつと
み、見過ぎです
そんなに見たって
仕方ないのに……

男というもんはな、
大きなおっぱいが
大好きなんじゃ

そうそう、こんなに
大きいおっぱいは
ジロジロ見なけりや
失礼ってなものだよ

だ、だからって
任務とは違っ
じゃないですか
どうせなら早く
始めさせてえ……

ぐず...

まあ、おじさん達も悪かったよ、じゃあ早く済ませるためにももう一枚脱ごうか

え、あの...

挟むっていうのは

裸じゃないと

駄目なんですか？

いい質問じゃな

確かにそのままでも

出来るかもしれんが

わしらは生乳で

やりたいんじや

ああ、でも安心して

上だけでいいからね

大丈夫大丈夫

は、恥ずかしいよお...

でも、分かりました

私にぐずぐずしてたら

終わらないから...

さすが名門！

優等生だね

じゃあ脱いでね

手が最後の一枚に伸び、
悩ましげに脱ごうと
している様はまるで
淫売が男を挑発している
ような雰囲気すらあった。

うん…

男たちは言葉も
失い、その一挙一同に
目玉が飛び出るほど
強い視線を浴びせる。

ドキ
ビク

ドキ
ビク

ア
……

彼女は目をつむり
心を無にするよう
つとめなければ
ならなかった。

さもなければ
自分自身もこの
淫靡な空間に
吞まれてしまう。
それほどの熱気
がそこに生じていた。



あーん

!

ヒナタは身体を
振るわせていた。

上半身を、乳を丸出しに
しながら欲望剥き出しの
男どもに囲まれている。

それでも身体を
隠すことは
しなかった。

彼女は忍者であり、
任務のためと
必死に耐えていた。

男たちの荒い
息遣いが耳元を
くすぐるように
近く大きく聞こえる。

それがまたヒナタに
状況の異常さを
再認識させて
しまうのだった。

ぐす...
ぷる

ううう...
恥ずかしい...
恥ずかしいよお...

ぷる

ぎゅっと目を瞑ったまま
涙を浮かべるヒナタに、
男たちはたまらずに
加虐心を駆り立てられる。

ヒナタちゃんの体
エロすぎだよ！
そんな凶器を
隠し持ってるなんて
大した忍だなあ！

なんちゆう
キレイな乳じや
老いぼれには刺激が
強すぎるわい！

うう...
知らない...
そんなの私
知らないよお...

ぷる

ぷる

ヒナタちゃん、
目瞑ってたたら
駄目だよ

うう、はい……

……っ！

……っ！

目を開けた
ヒナタの目に
映ったのは
大量の裸体の男。

状況が変わった
わけではないが
服を脱ぐ前とは
明らかに雰囲気
変わっていた。

ひい……っ
う、うう……

もう我慢できないよ！
やらせてもらおうよ……

ブル

ブル

「パイズリ」

……っ！

待ってましたとばかりに男どもは既にいきり立っていた肉棒を一齐にヒナタへと向けた。

えっ……やだ……っ
ひっ、嘘……!?
こ、こんな……

ほーらヒナタちゃん
これがおちんちん
だよ、キミの体で
皆勃起しちやっ
たんだよ

や、やだ、やだあ!

ちよつとヒナタちゃん、
怖がってても仕方
ないでしょ？
おちんちん初めてなのは
分かるけどさあ〜

すみません
うう、すみません

ぐず

うう、わた…私、
こ、怖くて…
ご、ごめんなさい

誰にだって
初めては
あるんだからね
たまたま任務だった
っていうだけでしょ？

はい…
大丈夫です…

さあ、少し落ち着いたら
ところで改めて確認ね
今から君はなにをするの？

えっと……
ぱ、パイズリ……

うほっ！
ヒナタちゃんが
卑猥な言葉
言った！

うっ……

チン棒百本抜きや。
百本射精させて
やっと任務達成や、
分かつてるのう？


で、できるかな……
百本なんて……
私ほんとに経験
なくて……

大丈夫、おじさん達
もう見てるだけで
射精しそうだから
サクサクおっぱいで
抜いていこうね、これも
修行だと思ってさ

はい……

ピニ

ピニ



こうしてヒナタは
男たちの相手を
始めることになった。

射精人数
残り100人

オラッ！

ひっ！

ん

お、おおお〜……
す、すごい乳圧……
なんておっぱいだ……

あ、熱っ
いやあ！

ヒナタちゃん
ついにパイズリ処女
喪失しちゃったねえ

そんな言い方
やめてえ……

パイズリ！！

うおおお……
気持ちよすぎて
動いたらもう
出ちやうそつだよ

ん……

なら早く
出さんかい！
後がまだまだ
つかえとんじや！

わ、私は
どうしたら……
怖いよお……

ぐん……

このまま動くから
じっとしててね！
すぐ出るからね！

ひ、ひい……
精液……っ！

びる

びる

おっおっおっ!!
すっごい! すごい!...
マジで並みの女との
セックスよりイイよ!

いやあ、気持ち悪いっ
つ、強くないで
くださいっ、あうっ
ふうっふうっ、やだあ...

あうっ、はあはあっ
おじさんは気持ち良いよ
これほんつとヤバいよ
デカ乳まんこ最高だっ!

ふうふうっ
へ、変なこと
言わないでえっ

乳肉が揺れて
いやらしいのおっ!!
早いとこ乳内射精
してしまえ!!

ぐうっハマッハマッ
腰止まらないよー！

「JのっーJのっー」
「Jのヒロ乳娘ー」Jのおっー！

ううっ、ちがっ……あうっ
ふうっふうっふうっ……
痛いっ……ううっ……うー！

おらおらー！

これがパイズリだぞ！
ヒナタちゃんの身体が
エロいから出来るんだぞ！

そんな勝手に……！
別にえ、エロくなんか
ないもん……っ

とぼけるなあ！
その歳でこんなおっぱい
エロいに決まってるだろお！

ぐんぐん……
ひゅっ……

ギョ
しゃっ！

いっ
ぱっ

おおおっ
田ん田ん田ん
あゝ気持ちいいっ！

ぐす...ぐす...

ちくしよっ！

はあはあっ

ワシなら早く

よーせー！

も、物みたいに
言わないでえ...

なに？

本番無しで

我慢してるんじゃない

お前はオナホじゃ！

パイズリオナホじゃ！

ひぐっ...ぐすっ

お、オナホじゃないもん

違うもん...ぐすっ



音変わって来たよ！
先走り汁でおっぱい
ヌルヌルだよ！
はあっはあっ

や、やだっ
いやああっ

ああ出るっ
出る出るっ
ホントアイク...

ひっっ...
や、パイのまま
出すつもり
ですか...?

当然...っ、ふっっ
パイズリは侠射が
最高なんだよっ！

(おちゃっ)

(おちゃっ)

(おちゃっ)

(おちゃっ)

おお。。。おお。。。
あつたけ。。。。

あ。。。せ、精液まだ
止まらないんですか。。。？
く、臭くて熱い。。。。

どろ。。。。

ふう。。。出た出た
ありがとねえ！
気持ちいい射精が
出来たよお。。。へへ

き、気持ち悪いから
早くどけてください！

そうじやな、
早く抜いてワシに
代われ！ほら
ヒナタちゃんも
ぼさっとするな！

す、すぐですか？
ちよっと待って
下さい。。。やあ

射精人数
残り99人

ううっ、また
ちんちん入ってきた……
こんなの何回も無理だよお……

おっこりやええわ……
オナホールは撤回や
全然こっちのがええぞお

めいぼ

うう、気持ち悪い……
なんでこんな事に……

ちよつと乳寄せてみい
もつと具合よおくなるわ
ほれ、早よせんか!

わ、分かったから
怒らないでくださいっ

ヒナタちゃんかて
さっさと済ませたいん
じやるゝが、黙って
締め付けたらええんや

うう……
怖いよお……

エロ過ぎて
見てるだけじゃ
我慢ならない！
無駄撃ちしちゃうぞ！

うう…お、オナニーしてる…
それで射精して満足して
くれるなら良いですけど…

あくまで任務は
パイズリ奉仕！
ぶっかけは別枠じやる！

じゃあ止めて
ください…
だ、大体その…
なんでそんなに
擦ってるの…？

君は自分が思ってる
以上にチンポに来るんだよ！
おっさんに巨乳を犯されてる
その姿、たまらないんだよ！

お、おかずに
されてるんだ…
わ、私おかずに…

こりや！忘れるな
お前が奉仕しとんのは
わしのチンポじやる！

ぬちゅっ

おちゅっ

びんっ

チャ…

しゅ

しゅ

しゅ

ああ出るっ！
ヒナタちゃんあん！

ひっ！

おお、おお出るっ

おい！なんて奴だ
人がパイズってる時に……
ヒナタちゃんのおっぱいが
ドロドロではないか！

いやあ……せ、精液
熱い、熱いよお……
私の胸にこんな……

ヒナタちゃんも何を
興奮しとるんだ！
精液で汚されて
嬉しいのかこの変態娘！

ち、違います
そんなんじゃ……

ドロドロ

びっ

ひな

そのままおっぱい動かしてみい！
そのいやらしいデカ乳動かせ！

うう…変な言い方やめてください
「うう」ですか？

おっ！す、すごいっ！
これはっ、おほっ、くっ
き、気持ちええぞお！

気持ちいいんだ…
こうするんですか？
精液で滑って…はあはあ
気持ちいいんですか？

うわ、えげつな…
絶対気持ちいいだろ…
ホントに処女かよ
あの子…エロすぎだろ

あっ、あかん！何やっ
この乳っ、このテク！
ちよっ、出てまうっ
乳離せ、あっあかんっ！



ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ああっくそぉっ
出る出る出る！
まだ出るぞぉっ！

んっっっ

うおっめっちゃ
出してるし…
早く交代してくれ！

はあ、はあ、
これで二人…？
もう疲れたよお…

くう、もう少し
味わいたかったが
出してもうたのは
仕方ない、次誰や？

とびゅっ

びゅっ

はあ、はあ…
少しでいいから
休ませて
ください…

射精人数
残り98人

興奮した男たちは
ヒナタに群がった。
精液濡れの乳房が
性欲を刺激したのだ。

次、僕でいいよね!?
ヒナタちゃん、
次僕だよね!?

ひっそんなの
知りませんっ
順番は決まって
いるんじゃない...

もう我慢できないから
俺にやらせてくれよ!
順番とかもういいだろ!
パイズリさせてくれ!

お、お願いだから
ちゃんとルールを
守ってください!
私もできるだけ
頑張りますからあ!

一応次俺だから、
落ち着けてってほんと
ヒナタちゃん
怖がってんじゃない

わ、分かったよ
つい興奮して……

若い男が皆を静止した。
これが無ければ無秩序に
ヒナタは大事な貞操すら
奪われていたかもしれぬ。
それほどの熱気だった。

ひい、ひい……
つ、次の人
お願いします……

ヒナタは恐怖と
羞恥、嫌悪感に
気を失いかけたが、
任務を終わらせたい
その一心で次の奉仕を
催促をしたのだった。

（が、頑張って
任務するから
私頑張るからね
ナ○ト君……）

よし、そしたら俺は
縦パイズリしてほしいな
できるでしょそんな
おっぱいデカかったらさ

おっいいね
してもらえ
してもらえ

え、えっと
どういう風に
すれば……?

さっきはちんちんを
おっぱいぐにゅぐにゅ
って挟んだでしょ？
それを、こっやって
持ち上げる感じで……

きやうっ!?

うう、さ、
触らないで……

はいはい、じゃあ
自分で持ち上げてね
後がまだまだ支えてる
からちやっちやとホラ

ずらあ

ぐおおお〜……
そうそう、締めて、
締め付けてえ〜……

くくく
ヒキキキキキキキキキキ

BA!!!

ニキ♡

おお、すっげ……
挟んだだけで
これかよ……
とんでもねえな……

ニ、ニ、ニして
いれればいい
いんですか……？

うん……俺が腰動かすから
そのまんま維持して……

分かりました……
ど、どうか早く
射精してください

言われなくても
もうやべえよ……
う、動くからねっ

ああっ気持ちいいっ
マジかよこれっ！
はあっはあっ

くそっ腰が
止まらねえ！

わ、私は何もして
ませんけど……

ああっ乳圧が
すごいんだよっ！
大きいとは思った
けどこれは……っ

は、恥ずかしい……
何もしてないのに
そんなの……

はあっはあっ！
お願いヒナタちゃん
ぐにぐにっでして
おっぱいぐにぐにっ！

ぐにぐに……
こうかな……

ど、どいつですか
気持ちよく
出来てますか……？

ぐっぐっはあつ
良すぎるわっ

キャー

キャー
キャー

ああ駄目だ……
出ちまうよ
こんなの……っ

早く出して……っ
早く出して……っ
早く出して……っ

ああくそおおっ！
出るっこんなっくそっ
もっと味わいたいのに
我慢できねえっ！

ほ、ほら
出してっ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ

出るっヒロすぎる
っ……っの娘
うっっ出るよ
ヒナたちやあんっ！



ヒナタの縦。パイズリは
男たちに気に入られ、
後続の男が何人か
続いて射精した。

ヒナタの方も少しずつ
男の扱い方(と)いってても
胸でだけだが(を)理解
してきていた。

忍としての素質を
期待されていない彼女
ではあったが、性技に
おいて言えば男たちを
骨抜きにする逸材だった。

ヒナタちゃんのおっぱい
大分精液まみれになって
来たね、いやらしいよ……

い、いやあ、臭い……
あ、洗ったりしたら
駄目なんですか……？

何言ってるのもったいない
精液いっぱい乳に載せて
おくんだよ、分かったね

うえ……そんなの
き、気持ち悪いよ……

さて、次はヒナタちゃんが
積極的にパイズリするのが
見たいなあ、次おじさんだから

積極的に
ですか……？

自覚があるか分からない
けど、ヒナタちゃんって
結構チンポにクること
言ってくれるんだよね


え、そ、そんな
つもりは……

おじさん達を興奮
させるのが上手なんだね
才能あるよヒナタちゃん

そんな才能
欲しくないです……

まあまあ、そう言わずに
おじさんのチンポ優しく
おっぱいで包みこんで
エッチなこと言っほしいな

……えっ！



じゃあ、おちんちん
入れていくから、
エッチな言葉使いながら
パイズリしてねえ〜

そ、そんな急に
言われても
私そんな言葉
知りません……

大丈夫、ほら、
今からおっぱいに
何が入るの？

え、そ、それは……

知らないわけ
ないよね？

口に出して「うん

うん……

ほら入っでいらしてるよ
これ何？言っでほら
ヒナたちちゃん言っで！

う、ああ、
ち、ちんちんが
入っできてます……

ああ、ぬるぬるだよ
なんでこんななに
精液まみれなの？

な、何人も私に
むかって射精
したから……
ぱ、パイズリ
したからです……

あ、いいねえ！
興奮するよお……
あ、もうすぐ全部
入る……入るよお……

ぬ
ぽぽぽ

お
ぽぽぽ

あっ……
その……先っぽが
出てきました……

はみ出ちやっただねえ

すぽぽ

ぬるぬるなのに
ギョって締めてる
からすっごく
気持ちいいよお

あ、ありがとうございます
じげいます……

でも「」からだよ
ヒロ「」とっぱい
言いながらズってね♡

や、やってみます……

ああいいよお
おっぱいの
振動すーじゅー

じゅーじゅーおっして
ぶるぶるっして
ぐにぐにっしてするの
気持ちいいですか？

お、おっぱいで
臭いちんちんを
挟まれてそんなに
気持ちいいんですか？

ああ、いいー！
いいよー！もっしょ
言ってもっしょー！

そんな顔して、
あなたという人は
ホントにおっぱいが
好きなんですね

そうだよ！
大好きだよお！



うああ、激しい
ああ、駄目だあ
気持ちよすぎるころころ

ぱんぱん
ぱんぱん

そ、そんなにイイなら
射精したらどうですか!?

ああっそんな
無慈悲なああ……

ほら、射精して！
精液だしててください！

臭い精液びゅーって
射精すればいいのころ
ほら、ころころですか!?

ああっイク、イクっ

ほら、射精！
汚い精液吐き出す
時間ですよ、ほらあ！

ぱんぱん
ぱんぱん

ひ、ヒナタちゃん
次おじさんね！
おじさんも責めて！

ふー……う
変態の人しか
いないんですか？
何が嬉しいのか
分かりません……

ああ、チンポに
くるなあこの娘……

ヒナタ自身は本心から
気持ち悪がっているのだが、
マゾっ気のある男たちは
大喜びで淫語、ハイズリを求めた。
技巧も上がり、ハイペースで
任務が進んだプレイだった。

ヒナタの任務はここにきて
ようやく半分が終わった。

パイズリ奉仕で射精した
人数が50人を突破したのだ。
ヒナタはやはり才能があり、
一人に割かなくてはいならない
時間もかなり短縮された。

なんのつもりか、男たちは
ヒナタに精液を洗わせる
どころか、拭うことも禁止
していた。おかげで精液の
臭いが部屋に充満し、
ヒナタは胃がつかえる
思いを我慢していた。

しかしこの状況でもまだ半分。
大勢の男がヒナタのパイズリを
待ちわびているのであった。

射精人数
残り48人

ようやく順番の回ってきた男が
すぐヒナタに行為を要求する。
まだまだ多くの男たちが
自分の番までこの巨乳を前に
我慢させられているのだ。
しかし、当のヒナタは流石に
疲労困憊の様相であった……。

いやあ、強気で攻める
ヒナタちゃんも
エロかったね！
ほんと才能あるよ
次はおじさんにして
もらうからねえ

あの、少しだけ
休ませてください……
ホントに疲れて……
はあ……はあ……

ええっそんなあ
そう言われても
おじさんだって
我慢の限界だよ

す、少しだけで
いいですから……
はあ、はあ……

……そうだなあ、じゃ
仰向きに寝転がって
くれる？おじさん達
勝手にパイズリさせて
もらうからさ、ね？

は……はい

ズッ
ズッ

んっ…
挿入ってきた…

おおっすごう
どんだけでかいんだよ
ヒナタちゃんったら…
こりやたまらんわ

あの、ほんとに
寝てるだけで
大丈夫ですか？

これなら十分に
パイズリセックスできるよ
安心しておじさん達に
おっぱい貸してね！

せ、セックスじゃ
ないです…

ううっ、楽だけど……
はっ……はあ……っ
衝撃が……結構……んっ

はっはっああっ！
いっくの乳まん……っ

うう、また
変な言い方
してる……

乳まん「おおっ……
犯すっ犯してやる」のっ
エロ乳っ！……わるい乳だっ！

き、気持ち悪いようっ



ふう……ふう……んっ……
(でも今休憩しとかなないと
まだ半分だし……いちいち
反応せず無心でいよう……)

あーもうセツクスだよこれ！
っていうか今まで喰った
どのメス穴より具合いいっ

……っ
(無心無心……)

ふう……
ふう……

この歳でっ……こんなっ
パイズリだぞパイズリっ
信じられないエロ乳だ！

んんん……っ

エロい音たててるよ
ヒナタちゃんの
おっぱいまんこ！
セックスもこんな音
たててやるんだよ！

い、いやあ……
（セックスの話されたら
変に意識しちゃう……
聞きたくないのに……）

ふっ……ふっ……
（ほ、ほんとにこんな
音鳴るのかな……
ぱちんぱちんって……）

あー出る！最高の射精っ！
おじさんの人生で一番濃い
精液出すぞっ！ああっ！

おっす
おっす

おおおおおっす！
出るっすっすっす
イクイクっすっすっす！

ズッ

きやああっ……
出てる……っ
か、顔にかかる……

おおおっす「おおおっす
まだまだ出る……っ！

射精人数
残り47人

ふうふう……
おじさんいっぱい
出しちゃったよ……
すごく良かったよ
ヒナタちゃん

そ、そうですか……
濃くて臭いので
満足してもらった
のはわかりますけど……

次オレだけど、まだ
疲れてそうだし
このままやらせてよ

えっと……
そちらが
良ければ……

ヒナタが一応の
休息を取ろうと
する間、男どもは
遠慮なく身体に
跨りパイズリをした。
これで任務達成に
大きく近づいたが、
結局疲れはとれず
精液まみれになる
彼女であった……。

は……
は……
く、臭い……

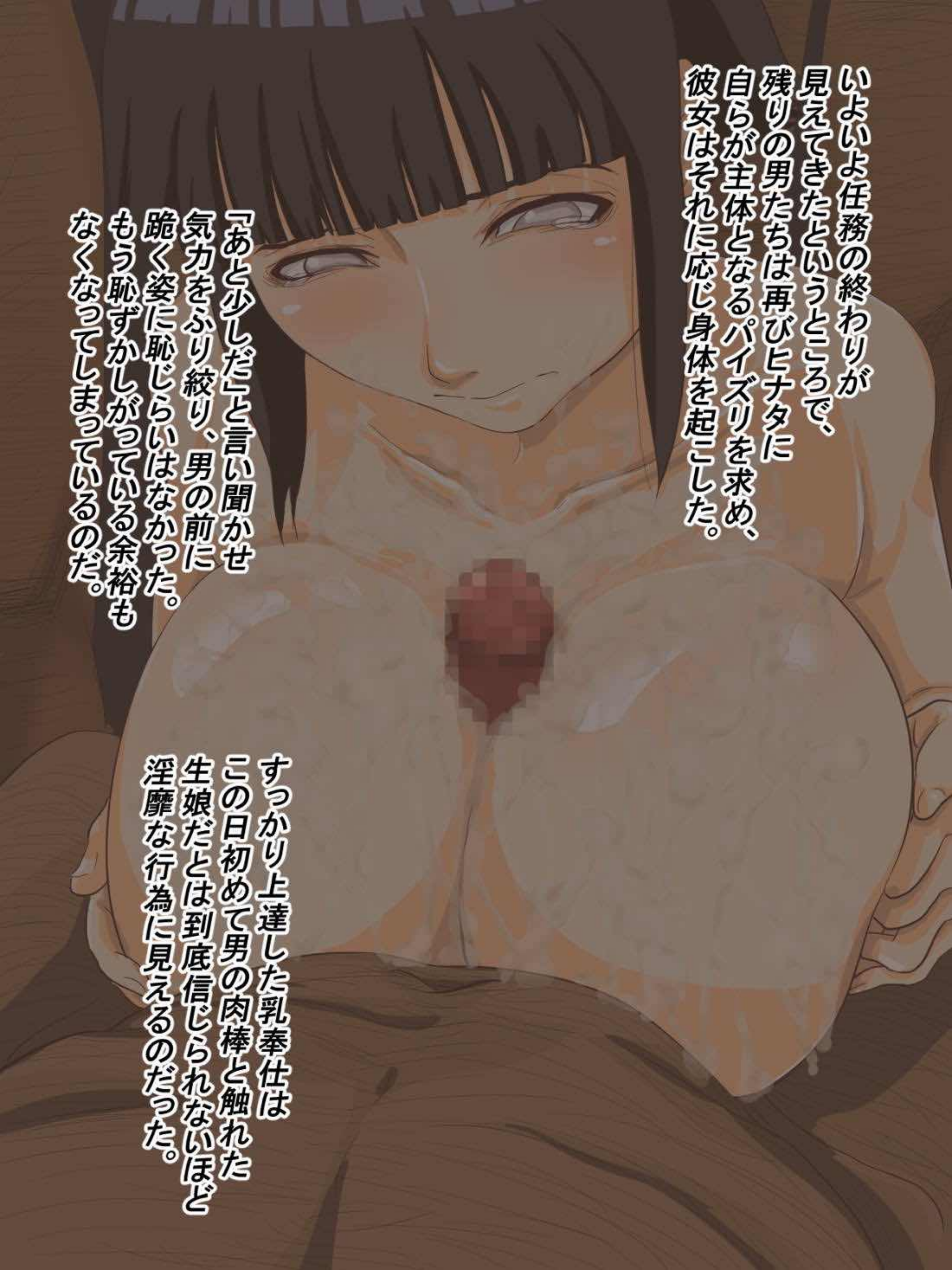
どろ

うひゃ〜随分
精液便所って感じに
なっちゃったな〜(笑)

どろ

うう……
は、吐きそう……

射精人数
残り11人



いよいよ任務の終わりが
見えてきたというところで、
残りの男たちは再びヒナタに
自らが主体となるパイズリを求め、
彼女はそれに応じ身体を起こした。

「あと少しだ」と言い聞かせ
気力をふり絞り、男の前に
跪く姿に恥じらいはなかった。
もう恥ずかしがっている余裕も
なくなってしまうのだ。

すっかり上達した乳奉仕は
この日初めて男の肉棒と触れた
生娘だとは到底信じられないほど
淫靡な行為に見えるのだった。

よーし、じゃ挿入させて…
あー入ってく入ってく…
おお…ぬるぬるでエッロお…

ぬるぬる…

んっ…これも硬くて熱い…
あの、いっぱい締め付けますから
早めに射精してくださいね

そうはいくか…って
言いたいところだけど…
これは長くもたないなあっ
挿入しただけなのにもう
すっごい気持ちいいもん

ふう…んんっ…
じゃあ動かします…

おお、ああっ
すごっおっぱいが
あ、ああっ左右にいつ！

ど、どうですか……？
気持ちいいんですよね
こうやって動かすと……

ああ気持ちいい……
気持ちよすぎるよ……
こんな短時間で……
上手になるものなのか……

ぐちゃ

ぐちゃ

べ、別に上手なんかじゃ……
こんな褒められても
嬉しくないよ……私は
忍者なのに……

なんだね、喜びなさい
大名の性処理任務だって
立派な忍者の仕事の一つ
じゃないかあ……ははは！
とっても誇らしいんだよ

ひく

ひく

うう、もういいから
早く射精してください！
上手かどうかなんて
どうでもいいです、ほら
もう射精してくださいっ！

あっあっひいっちよっ！
きもちいいっためだっ
射精る、射精るうっっ！

ふっっふっ
「の、のっ」

よ、容赦ない
パイズリでイクっ
ヒナタちゃんの
ドスケベテクで
射精するうっっ！



うっっっ射精るッ！

びゅっ♡

12/11

「っっっっもっっっっ汚いっっっ
量、多いですねっっっっ！」

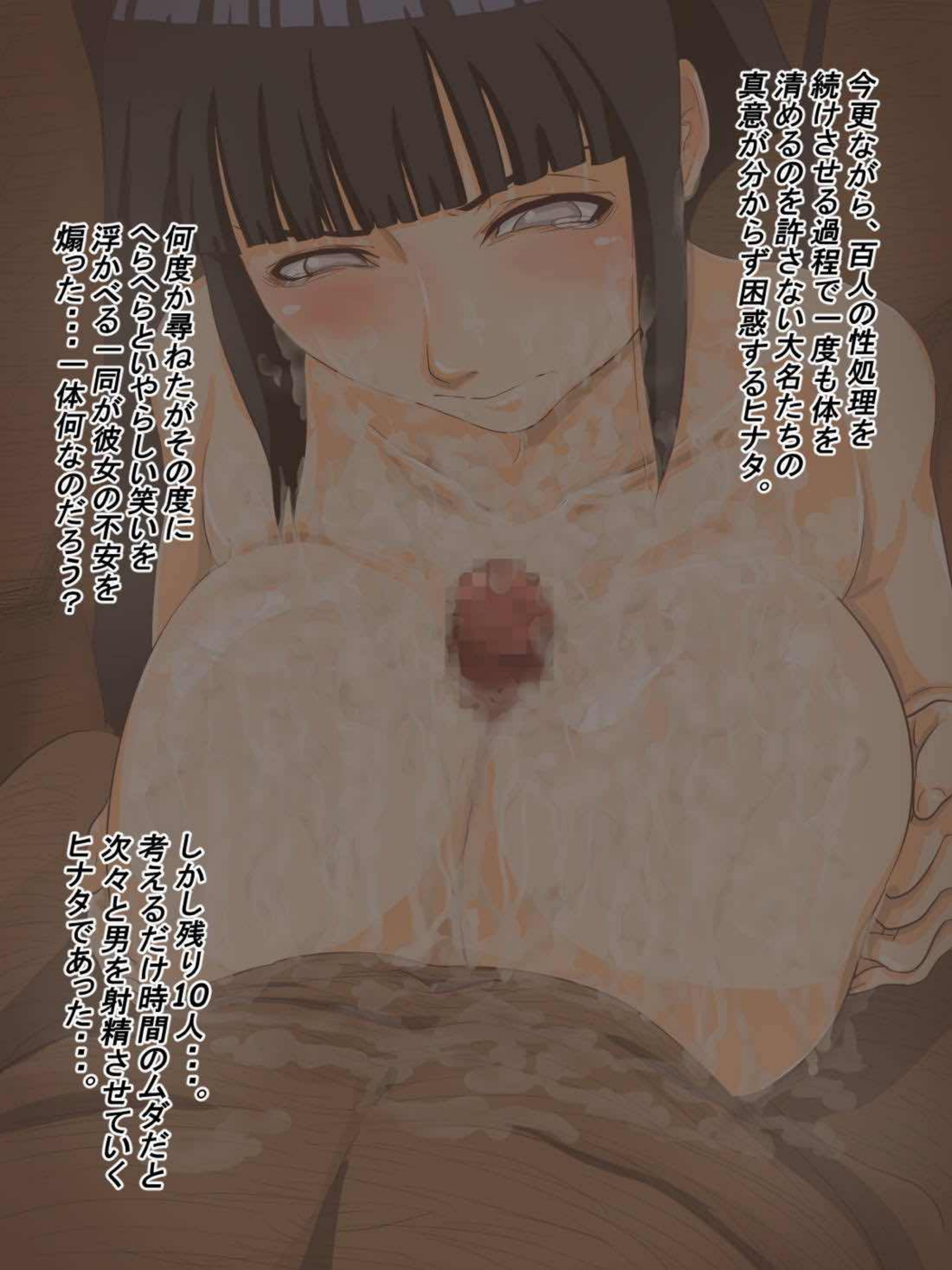
どろどろ……
なんでこんなに
臭いんですか……？
大体なんで洗ったら
駄目なんですか……

おお……出た出た
むふふ、いい具合に
精液まみれだ……
あと数人だからね、
気にせず続けようね。

ふう……はい……
（なんでこの人たち
嫌がらないの……？
他の人の精液とか
嫌じゃないの……？）

むわわわ

射精人数
残り10人



今更ながら、百人の性処理を
続けさせる過程で一度も体を
清めるのを許さない大名たちの
真意が分からず困惑するヒナタ。

何度か尋ねたがその度に
へらへらといやらしい笑いを
浮かべる一同が彼女の不安を
煽った……一体何なのだろう？

しかし残り10人……。
考えるだけ時間のムダだと
次々と男を射精させていく
ヒナタであった……。

はあ、はあっ……すごいっ
すごいよヒナタちゃんっ
ホントに百人おっぱいで
抜いちやったよ……!!

へえああ……
もう、流石に……
疲れました……

よし、じゃあご褒美
あげようねヒナタちゃん
任務達成したからねえ

ご、ご褒美……?
それは任務報酬で
もらうからもう
帰らせてください……


そう言われても
用意しちゃうよ、
ほら材料は既に
そこにあるん
だからねえ……

そ……?

ほら、おっぱいに載ってる
精液だよ……おじさんたちが
取ってあげるからねえ

き、綺麗にしてくれる
って……ですか……?

射精人数
残り0人



男たちはいやらしい
目つきでヒナタに近づき、
胸をまさぐりはじめた。

当然嫌がるヒナタだったが、
身体が疲れて上手に動くことが
できない。

しかし男たちの目的は乳房そのもの
ではなく、精液を集めることらしく、
白濁した液体を掬っては器に集めていく。

怖気を感じ震えながら、
不安そうな顔で男たちの
行為に身を任せるしか
ないヒナタだった……。
彼らは一体何をしよう
というのだろうか……？

男たちに身体をまさぐられ
放心状態のヒナタであつたが、
確かにその身体からは相当な
量の精液が拭い取られていた。

も、もう……
やめてください……
に、任務は終わったんじや
ないんですか……はあ、はあ……

いやあ、綺麗にして
あげただけじゃないか、
疲れたろうから飲み物
まで用意したんだよ？

の、飲み物……
確かにのどは
乾いてるけど……
はあ……はあ……



□
□
□
!?

ヒナタの前に出されたのは、
さっきまで自らの身体についていた
この男たちの汚らしい精液を
混ぜ入れた器だった……。

男たちはこれを
飲ませるために、
百人分の精液を
拭わせることを
許さなかったのだ……。



ま、まさかそれを……
その精液を飲ませようと
してるんじゃない？！

そうだよ。飲んでもらうのが
楽しみで仕方なかったよ……
おじさん達は本番禁止という
条件が結構気に入らなくてね……

そ、そんな……

こんなに私頑張った、
頑張ったのに……っ
き、気に入らないって……！！

いやいや、ヒナタちゃんの
パイズリ奉仕はすごく
良かったよ、満足してるんだ。

ただ、ヒナタちゃんを内側から
犯したいんだよ……。
セックスの代わりにね！

ひっ！ヤダッやだあつ！
やめてくださいっ！
離してえええええええーっ！

おら動くな！犯されたいのか？
飲めば帰してやるっつってんだよ！
こっちだって我慢してやったんだ
俺らの精液くらい飲みほせよ！

そんなんっ！お、お願い！
お願いだから離してえ！
ちや、ちやんと任務したのに
私ちやんと頑張ったのに！

ググググ...

ほーら飲んでヒナたちちゃん
ホントに犯しちゃおうよ？
大丈夫、意外とすぐ終わるって！
グイっと一気にいっっちゃおうよ！

むっ

むっ...ふっ...ふっ...!!
無理、無理!!

帰れないよ？せつかく
頑張つて守った処女が
めちやくちやにされて
いいの？(笑)

ひ、ひどいっ!!
こ、こんなの任務じゃ
ないっ!!あ、あなた達
だってタダじゃ済まない
んじゃないですか!?

そんなものお金だけで
なんとでもなるんだよ!
御託はいいから飲むか
犯されるか選びなさい!

疲れて抵抗もむなしく、
男どもに無理やり
押さえつけられるヒナタ。。。
器を強引に口につけられ、
もはや覚悟するしかなかった。

んぐっ

う、うぶうっ！
んぐっ。。。んっ。。。！
い、いやあ！口に入っ
てる。。。気持ち悪い！

おお〜ええなあ！
やつぱり。。。おぼこ
精液飲ますんは興奮
するのぉ〜っ、ははは！

んぐっ

んぐっ。。。っむぐっ
んぐっ。。。！
（この人たちひどい。。。
でも飲まなきや犯される！
うう苦い！ホントは絶対に
嫌なのにい。。。っ！）

ぐ……お、おえ……
う……ぐ……ぐ……
（は、吐きそう……う……
む、無理……こんなもの
全部飲むなんて無理……）

ちよつとヒナタちゃん
全然減ってないよ！
飲みほさないと……あ！
吐いたら犯すからね、
しっかり全部食べなさい！

う……う……う……ぐ……
の、飲むから……犯さないで……
犯すのだけは……う……ぶ……

よーしいい子だ……っ……
じゃあほら、もっともつと
飲みなさい！さあさあ！
おじさん達の子種しっかり
胃の中に詰め込みなさい！

おえ……

30分後□□□

じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ

ブクブク
コクッ

じゅっーじゅるるっ！
ん…じゅる…っ
ごくっ…ごくっ、んぐっ！
(臭い苦い臭い苦い
臭い苦い汚い汚い臭い
臭い臭い汚い臭い臭い)

んよよしよし、ゆっくり
だけど大分減ったねえ！
偉いよもうちよつとだから
頑張ろうねヒナタちゃん

ぶぐっ…んじゅるっ
じゅるっ…ははは…
じゅるっ…んえ…

再び 30分後

うおおっ！完食！
ヒナたちちゃんお疲れ！
すっごい良かったよお！

おう、よう頑張ったのお！
吐いてもうて犯したる
つもりやったのにな(笑)
えらい根性や、褒めたるわ

うぶ…わ、私
もう帰ります…
さ、里に帰って…
全部…忘れたい…

なんだ忘れるなんて寂しいこと
言うなよ！おじさん達とは
肌を擦り合わせた関係だろ！
いや、これは最後にもう一つだけ
思い出作りしないなあ！

うぶ…



↑…？

ヒナタちゃんの精飲見てたら
おじさん達勃起止まらなくてさー！
最後にぶっかけさせてよー！
記念記念ー！いいでしょう？ね？


ぐすっ…ほんとに
もう嫌あ！嫌だよお！

帰してえ…！ぐすっ
ナルト君…ナルト君…っ
もう帰りたい、帰りたい！

好きな男の子の名前かな？
ホントに精液かけるだけだから
お願いだよ！それで終わり！
ホントのホントに終わりだからね！
その子のとこる帰れるんだからさ

うええ…っ
ぐすっひっひっく…
うええええんっぐすっ





男たちは一斉に
ヒナタに向かって
セズリを始めた。
解放されるのは
彼らが満足した後……
理不尽な行為に絶望
するヒナタであった……

ああ泣き叫ぶヒナタちゃん
愛らしすぎてもう射精る！
射精するよヒナタちゃん！

もういやあああああ
うわああんっうあああ
ひぐっやめてえええええ

こりや興奮するわ……
また真っ白にしてやるからな
ヒナタちゃん……おおっ射精る
やはりチンポに来るぞこの忍者あ！

助けてえええ
おうち帰してえええ



うっ！

んっ……っ
やだあ……

しびれ

ああ「っちも

い、イクッ！

しびれ

うっ……

ぐた

ぐた

あー次こっち
射精るぞ〜
おおイク……

ぐた

ぐた

はあっはあっ
ワシもイクっ！



もういやあああ
かけないでええっ

射精るぞっ！

どびっ

どびっ

どびっ

オラ！デカ乳に
射精してやる！
ううっ！

やだっって言ってる
のに、やめてええ！

どびっ

ひゃっ

おおおっぐう！

イクイクイクっ

あー射精すっ！

やあああああ

イクッ！

どびっ

ひいらっやあああ
もうやだよおおお

男たち百人に再度
精液まみれにされた
ヒナタ。シヨックと疲れで
話す気力もなくなっ
てしまった……。

■
■
■

よしっ！ヒナタちゃん
これで終わりだよ！
お疲れ様……って
あんまり聞こえて
ないのかな？

報酬は里に渡しとるから
帰って受け取るんやぞ
色付けといたったからな
欲しいもん買ったらええ

はい……
ありがとう
ございます……

すごく良い
慰安任務だったよ
またお願いすると
思うよ、よろしく！

■
■
■

とろ……

わちよ……

この後身体を清め、
無事里に帰ることが
出来たヒナタであったが、
元来の恥ずかしがりな
性格がこのシヨックで
少し悪化したようであった。

しかし、二度と慰安任務は
受けたくないという思いは
彼女の日々の修行の成果を
向上させ、結果的に本来の
忍としての才能が少しずつ
開花していくきっかけとなった。

任務報酬は大名が言った通り
かなりの大金で、その使い道は
もっぱら修行用に使ったりした
ものの、使い切れなかったようだ。
彼女が求めるのはお金ではなく
忍として認められることなのだ。

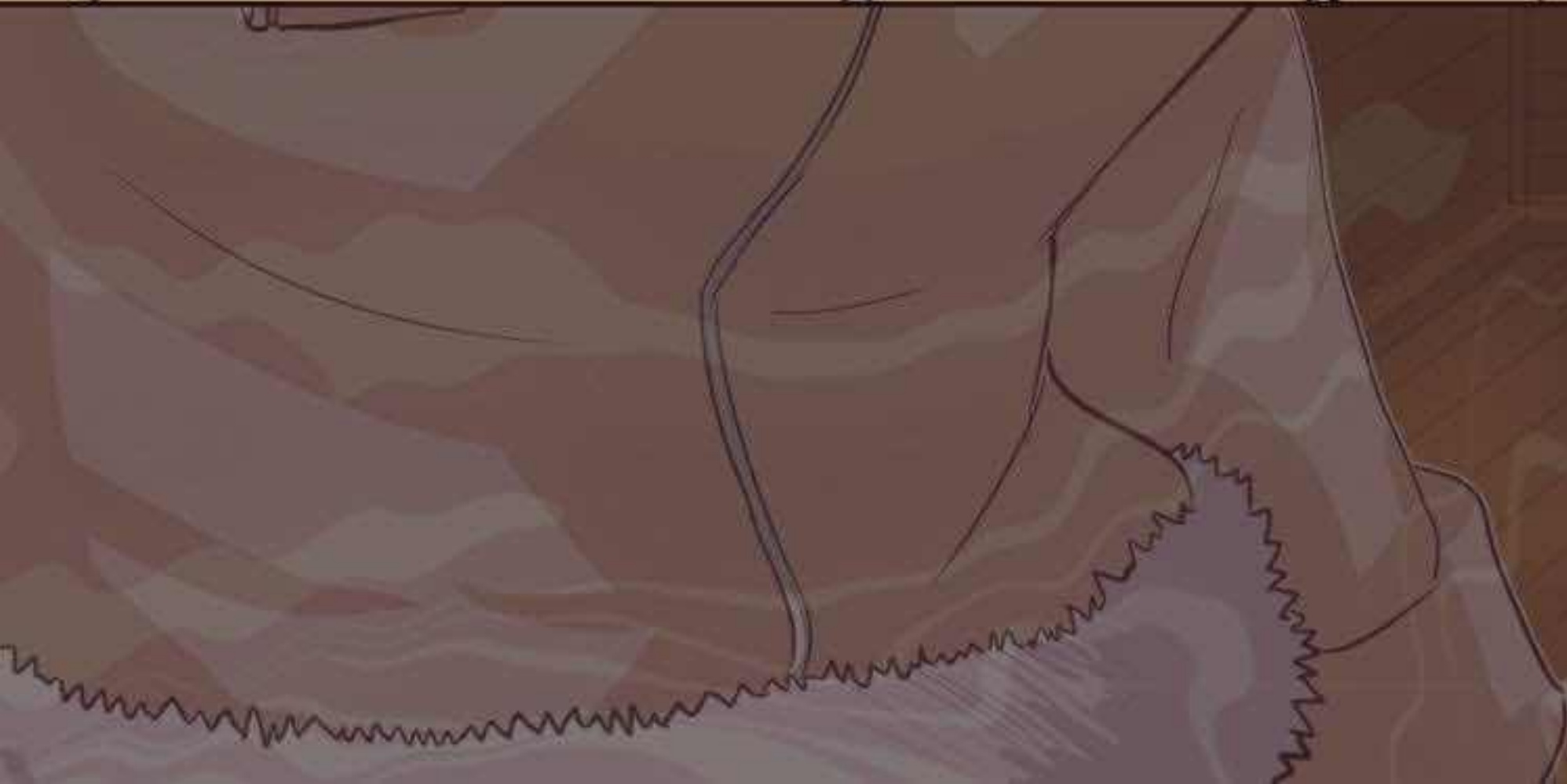
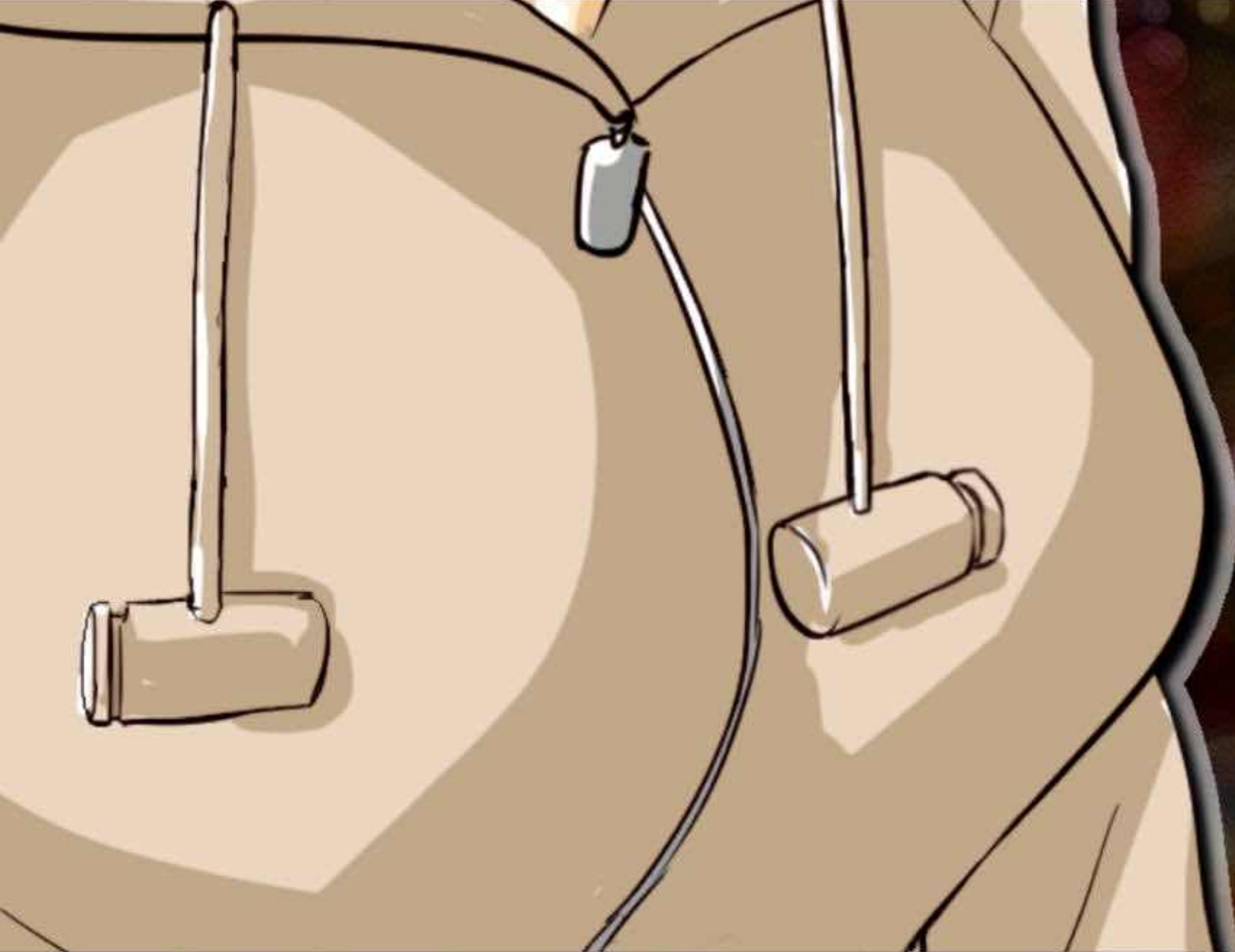
任務をこなしていく中、
大名からの慰安任務は
全て断ることが出来る
くらいの評価は得られた。

この後、想い人のナルトが
里を出て修行をする
二年の間、また慰安任務を
受けることになるのだが、
それはまた別の機会に……





















































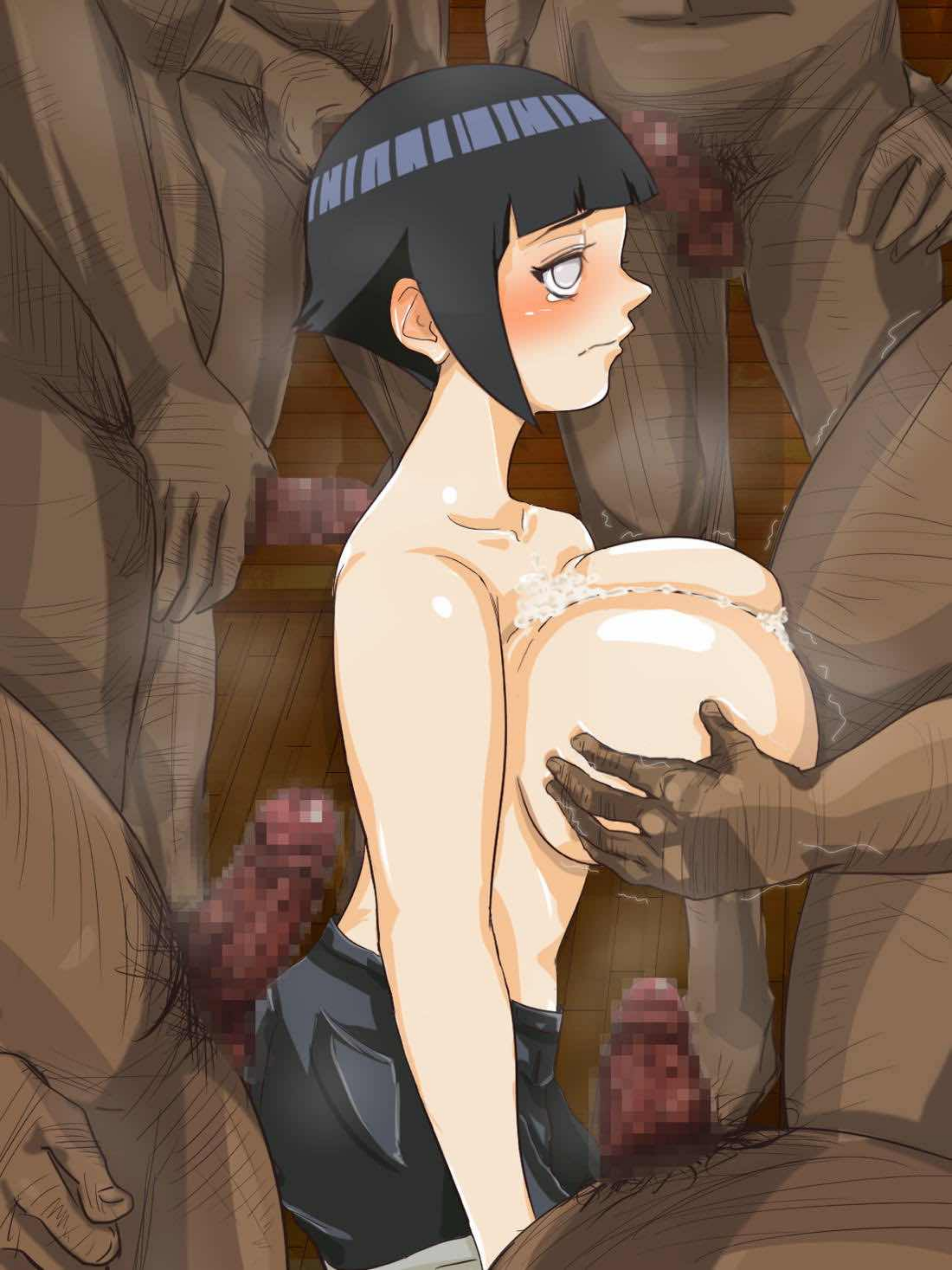








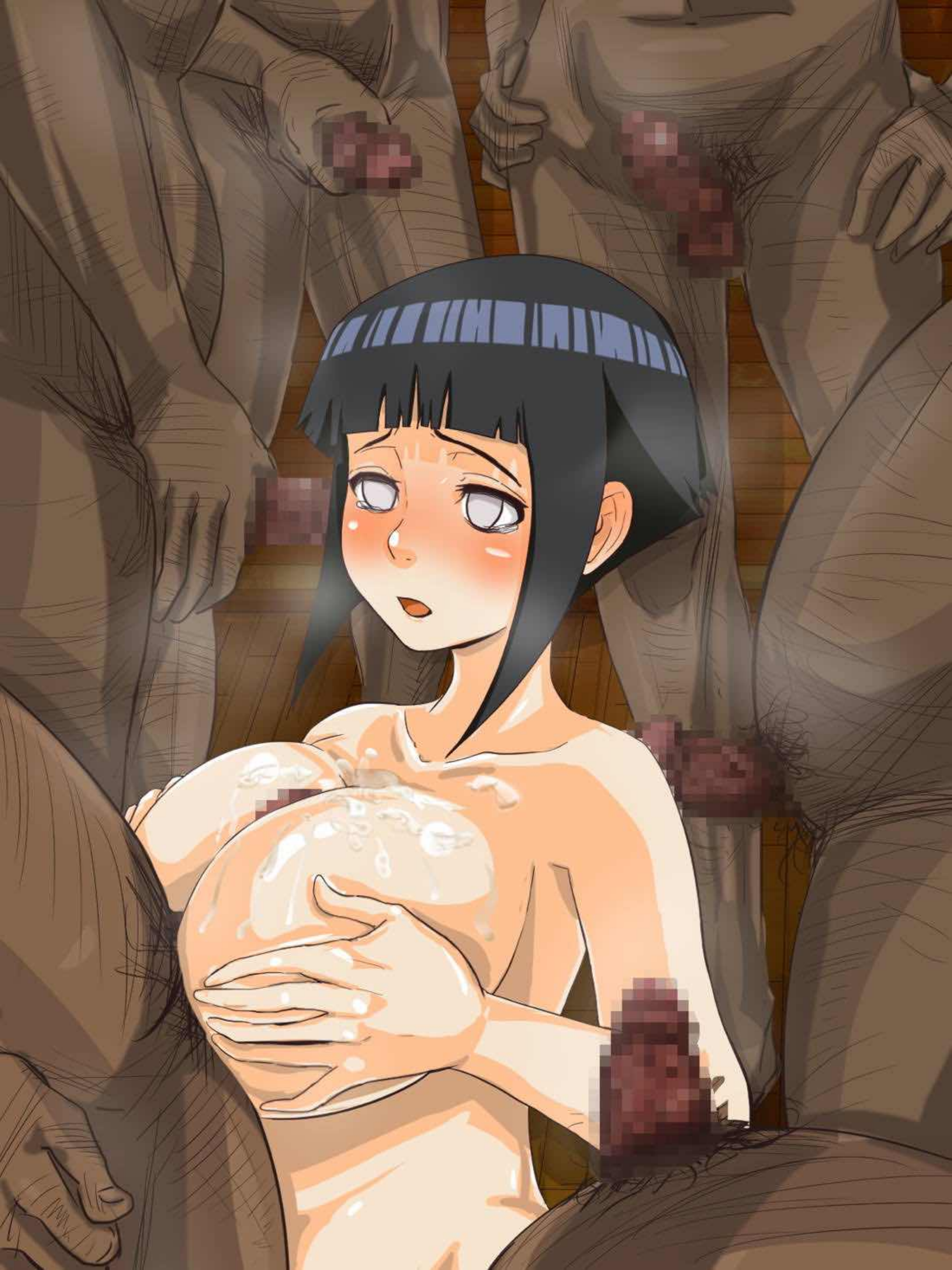


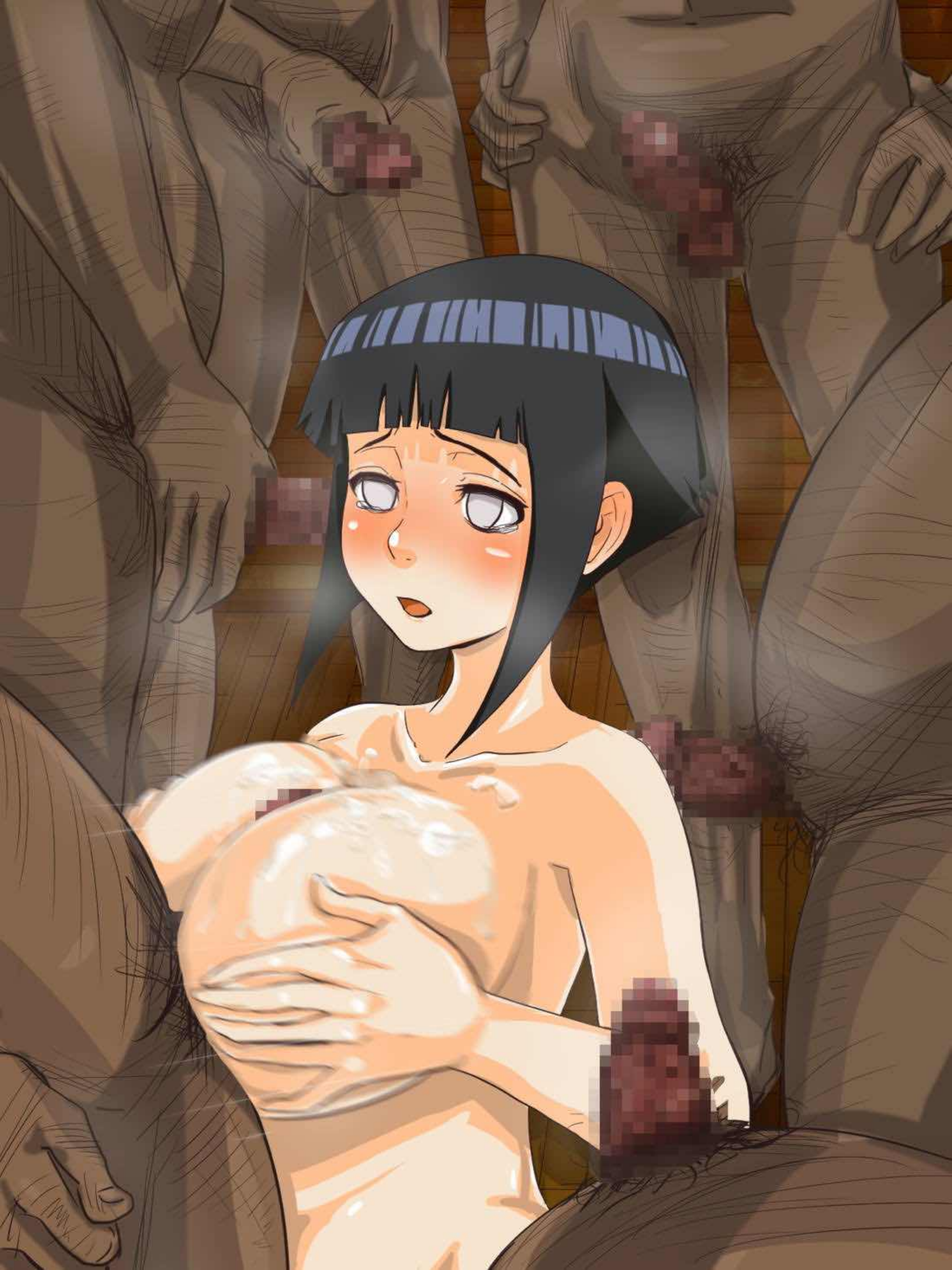


































































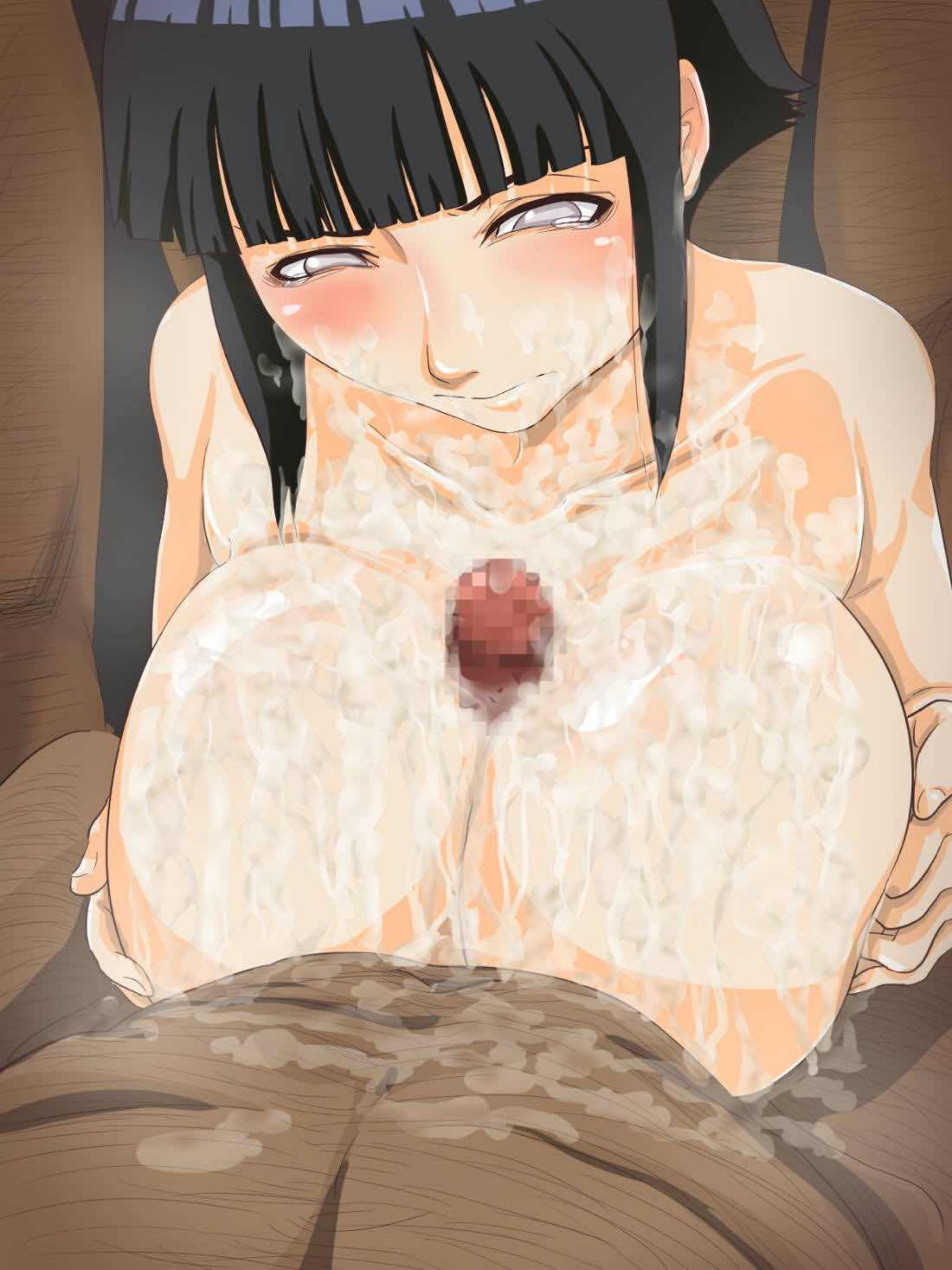


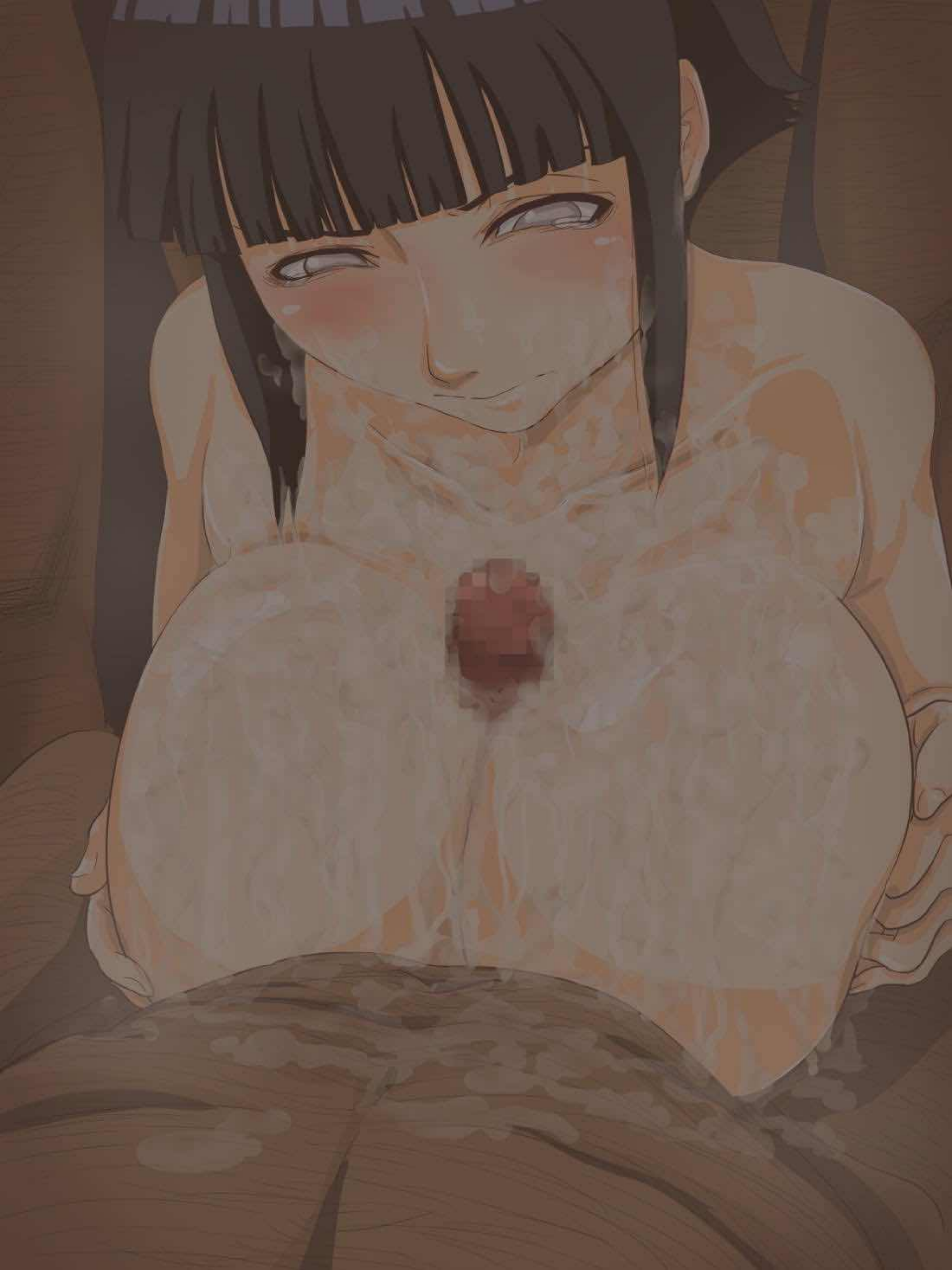






















































任職中

No.1



こころ

こころ

こころ

こころ





♡
♡

10月11日

任務中

巨乳

乳

初ちんぽ

♡
工口様

♡
とすけがまはし

変態
No.1

♡
処女 *SEX禁止

♡
期間限定
乳便器

♡
封印

♡
精液かけて

田中六
里のオナベトです

いーいーいー♡

♡
しんたろう



初ちんぽ

変態
No.1



10月11日
任務中

巨乳

乳

♡
エロキ

♡
とすけがまは

♡
処女 *SEX禁止

♡
期間限定
乳便器

♡
封印

♡
精液かけて

田中六
里のオナトです

いーいーいー♡

♡
おっぱい





性処理

パイナップル

任務中

初ちんぽ



性処理



パイプツ/用

任務中

パイプツ

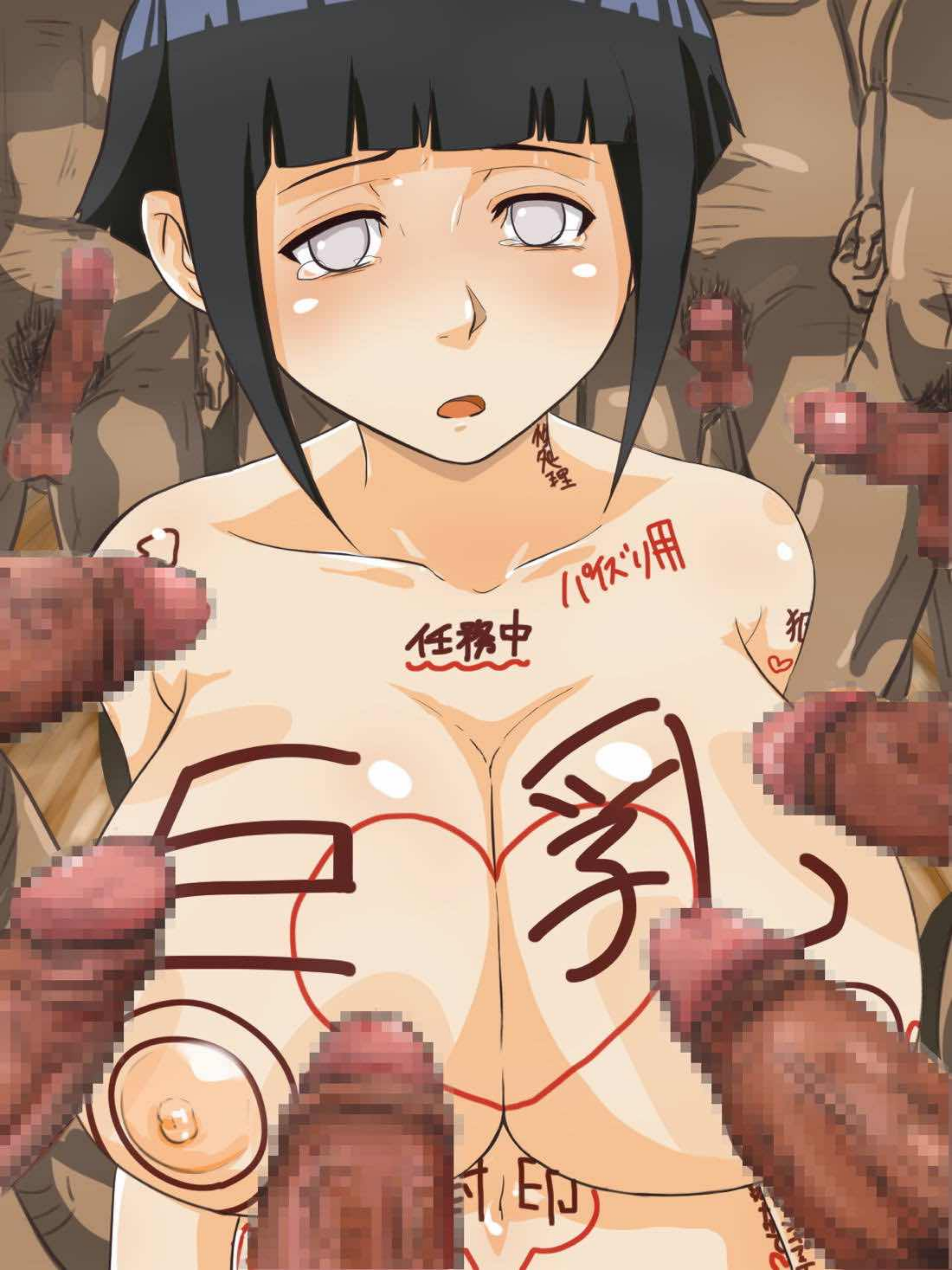
イロガキ

とすハハ

処女

SE禁止

初ちんぽ



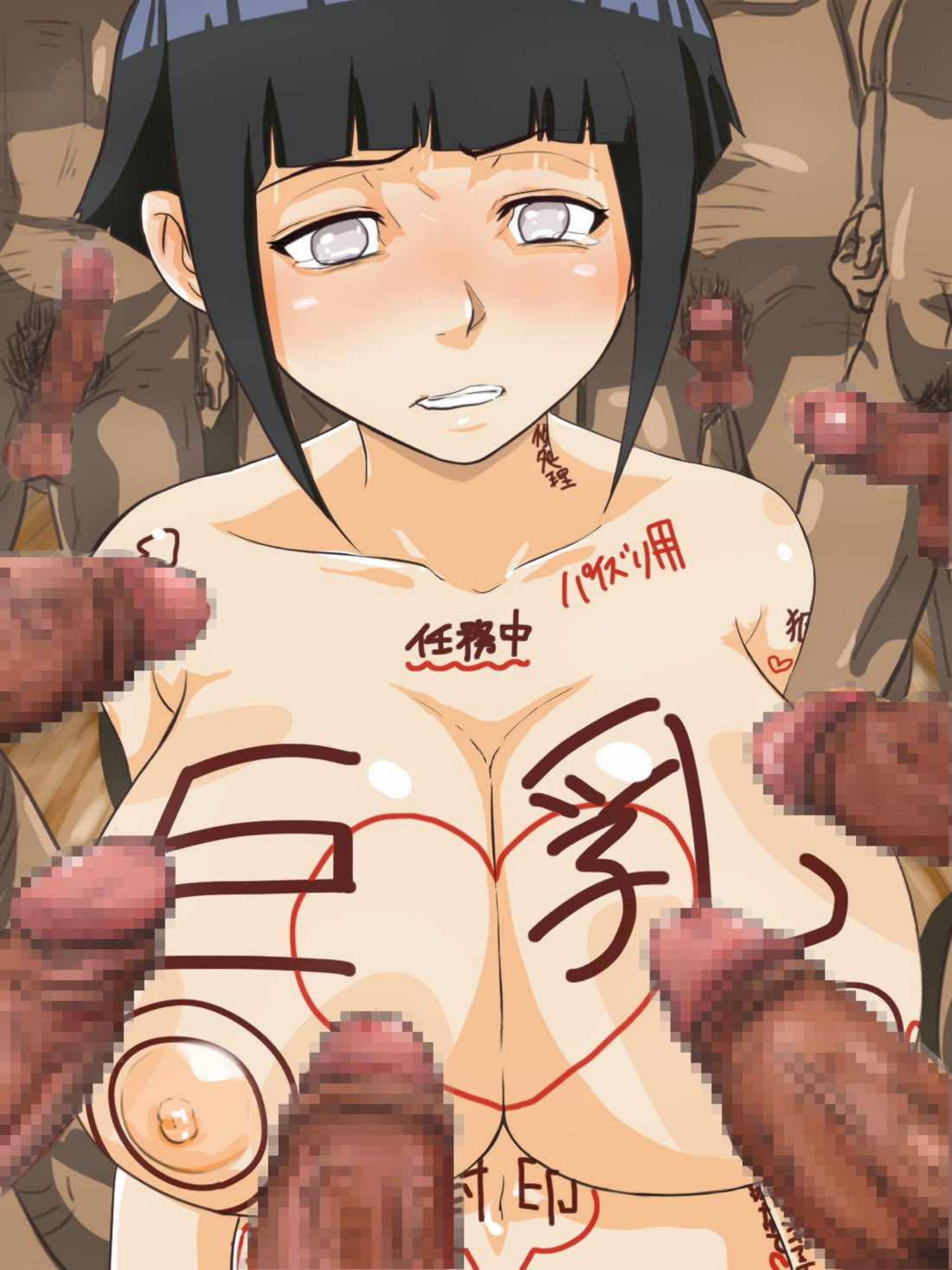
任務中

1921用

犯

百孝

封印



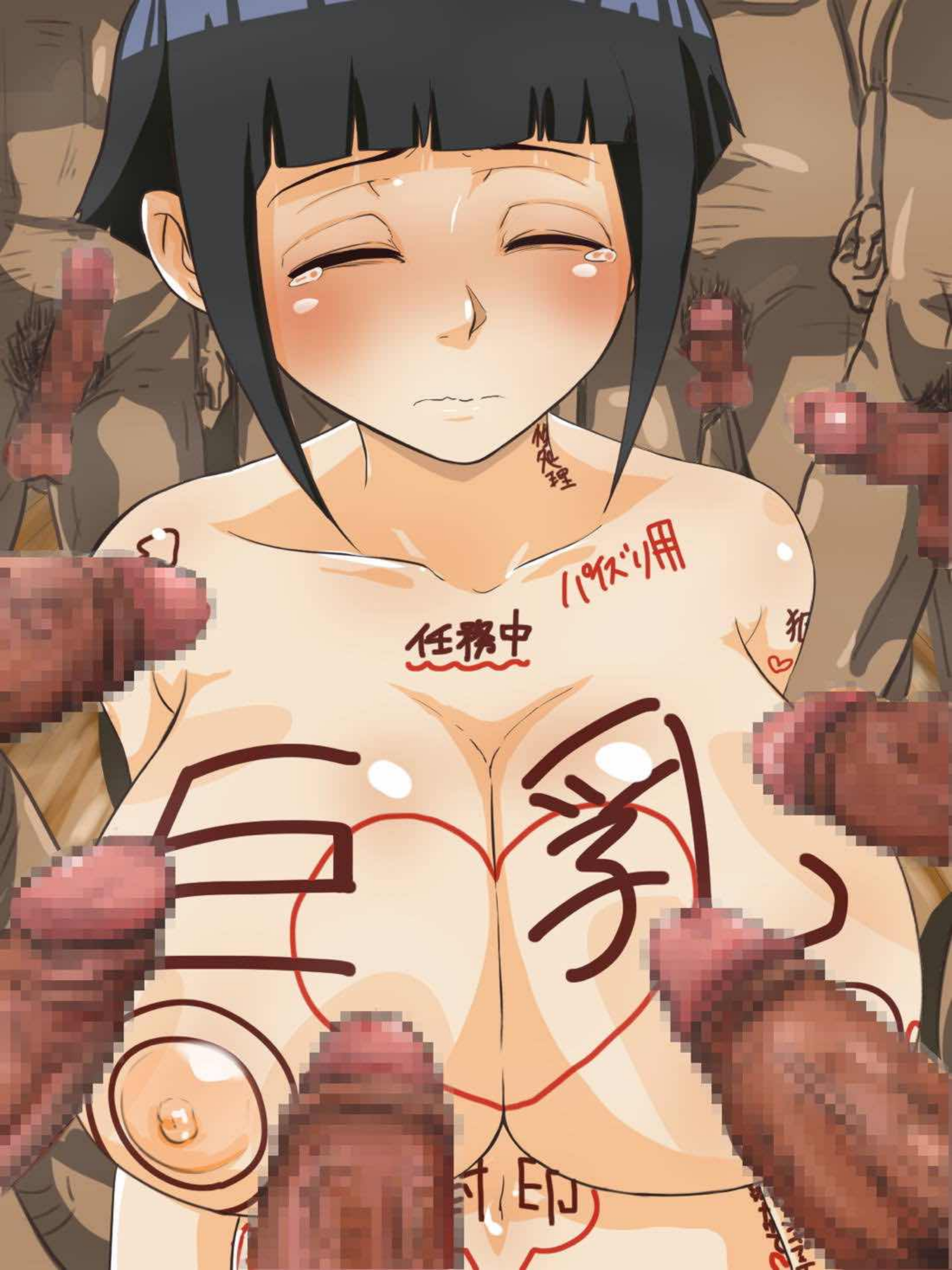
任務中

1971用

犯

封印

封印



任務中

1971用

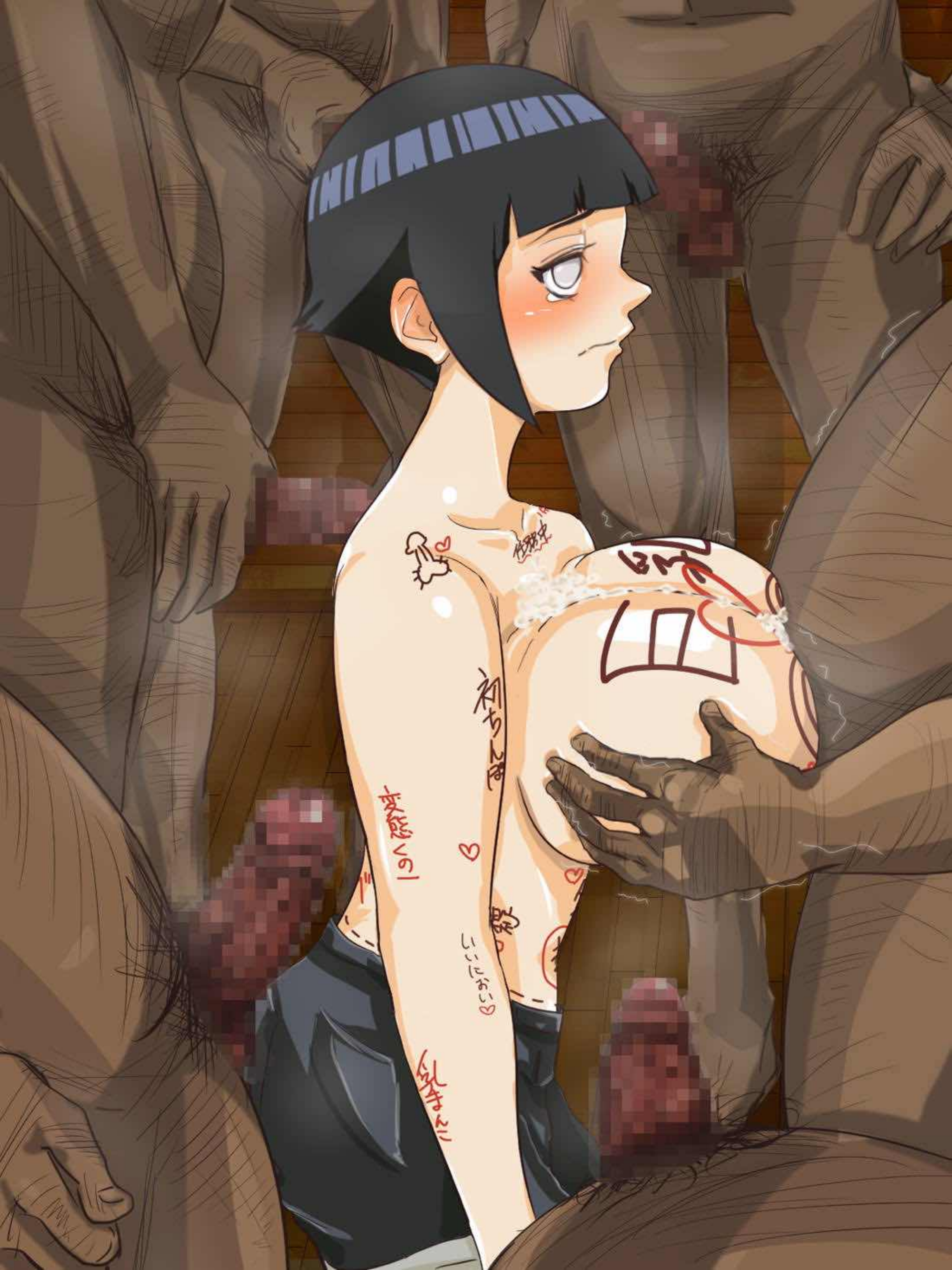
犯

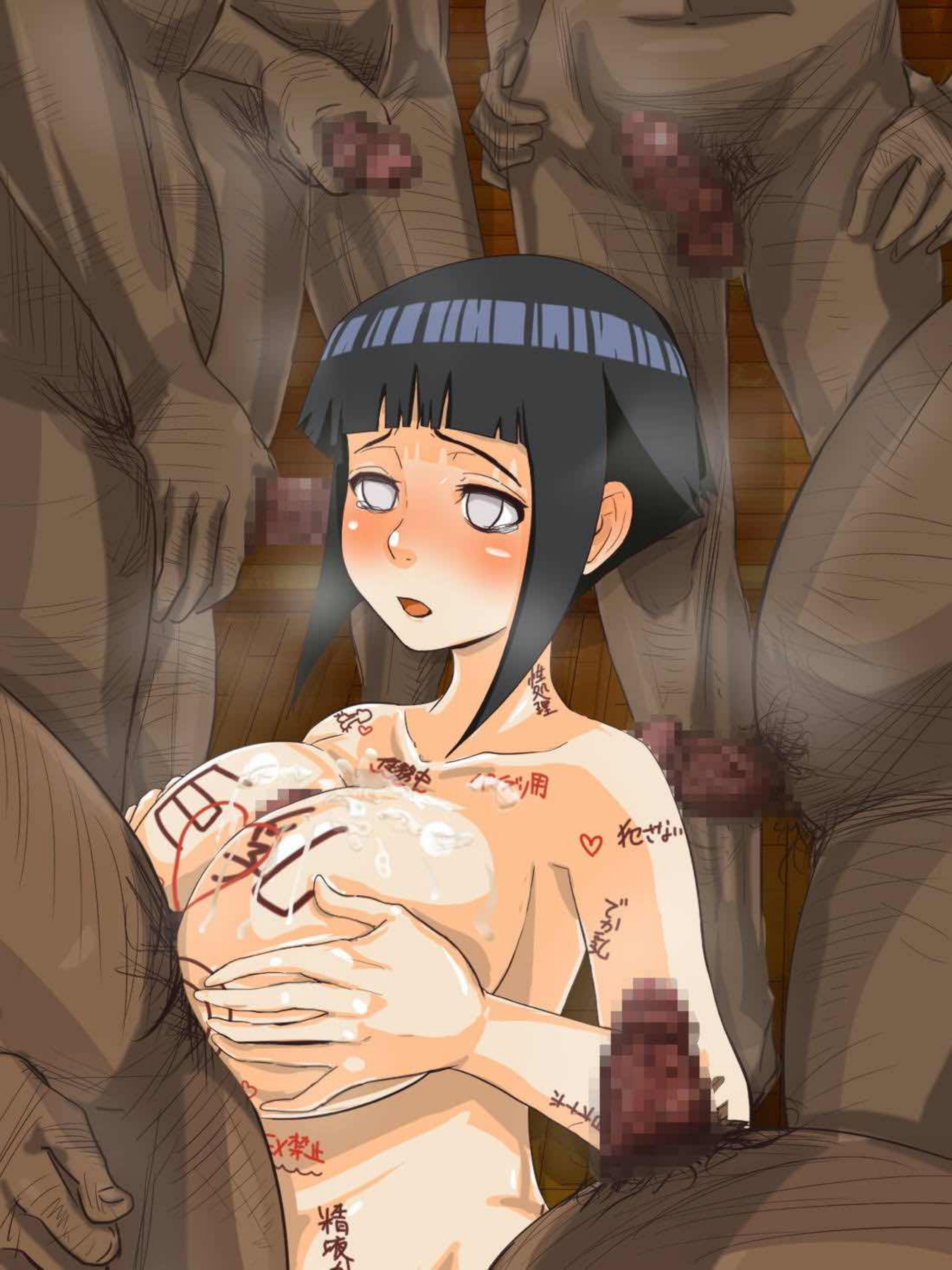
百孝

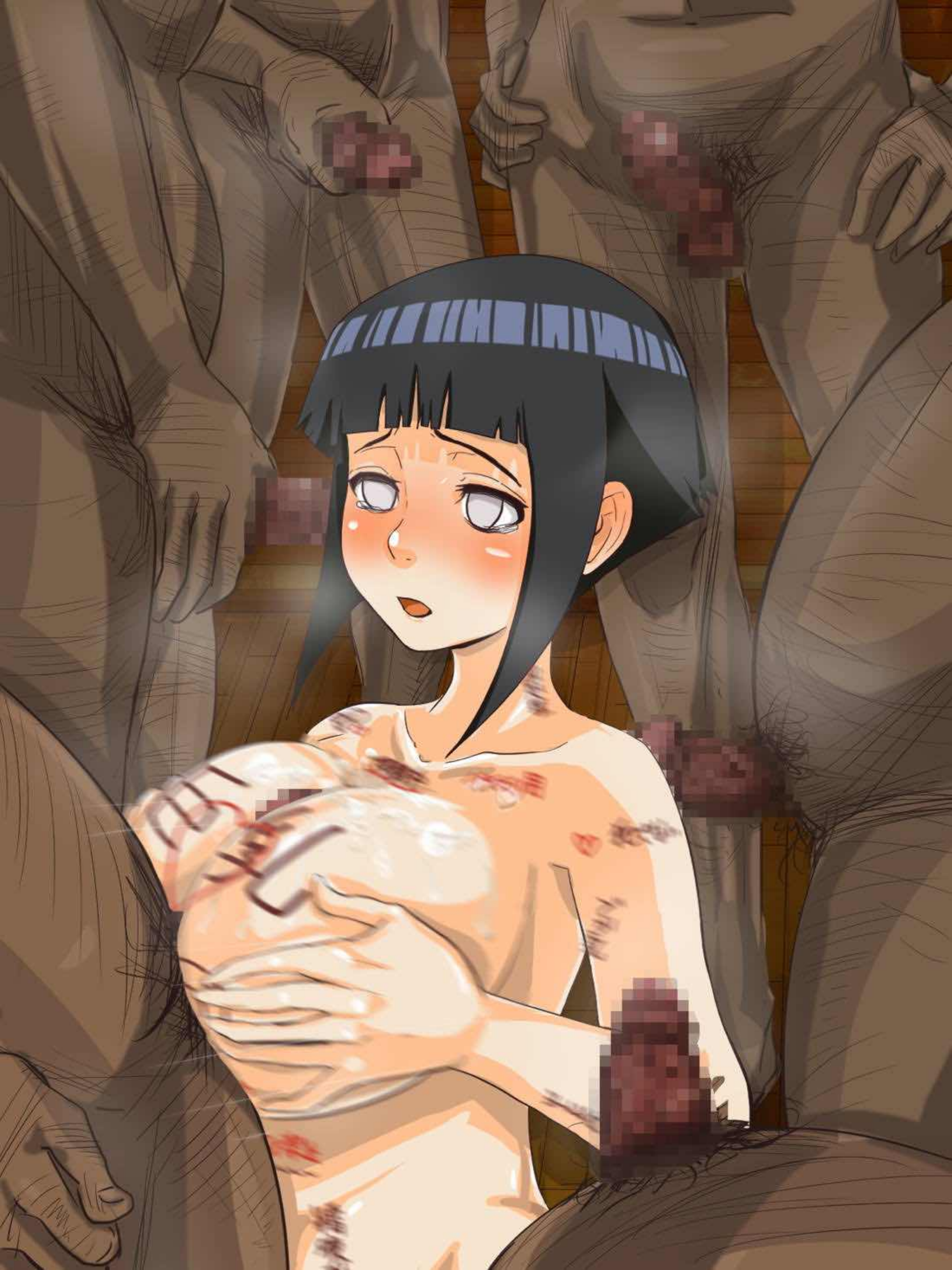
封印

MAY 21

Copyright









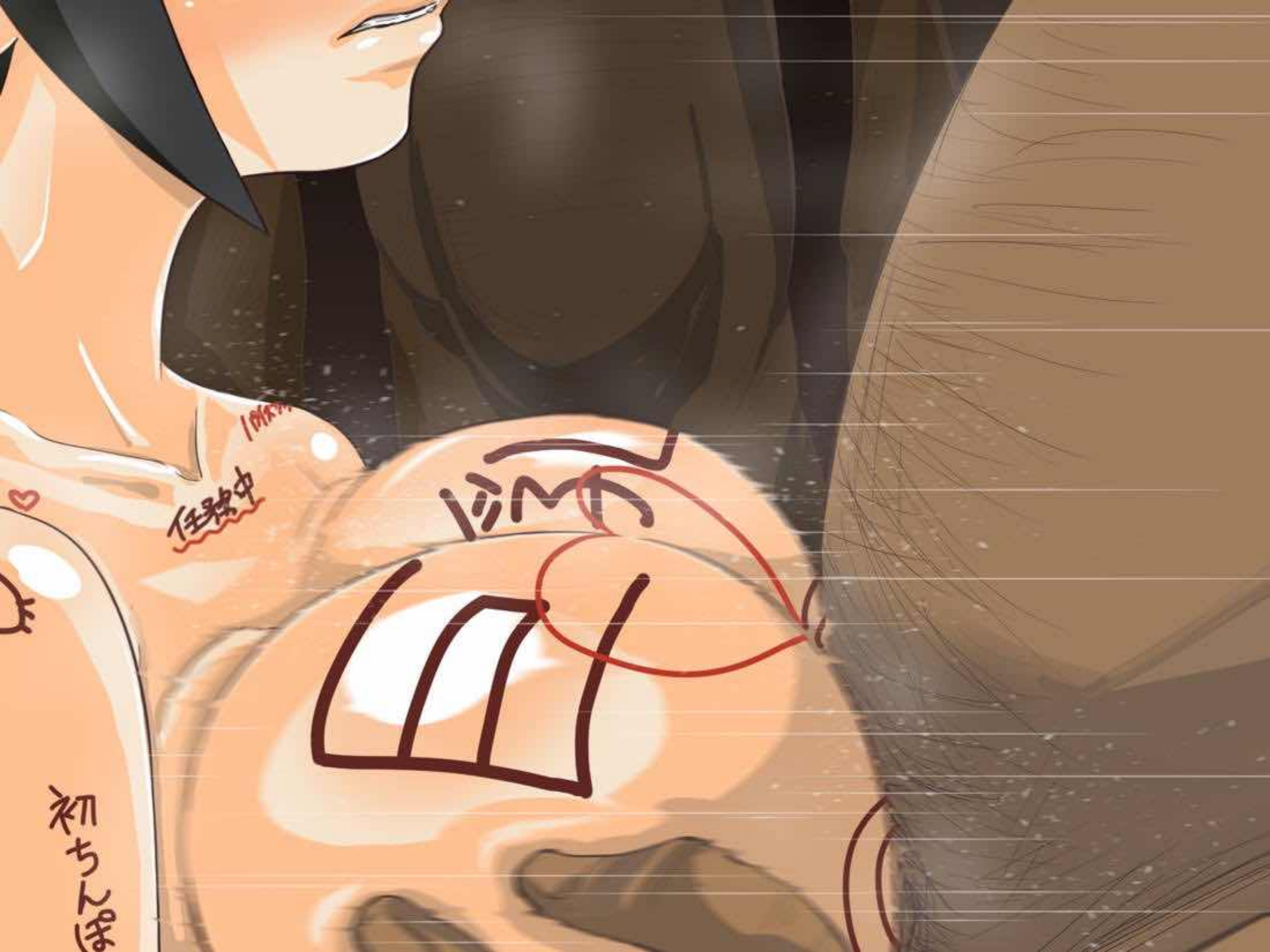
任務中

10/10/16

初ち2016

10/10/16





任務中

VIM

初ち2016



自給中

WIND

初ちん





用ズイパイ



おきな

ア
カ



ハズリ用

おきな

アキ



用ズイバ

♥ ねま

ア



用ズイイ

♥ ねさ

ア



性根

ハズリ用

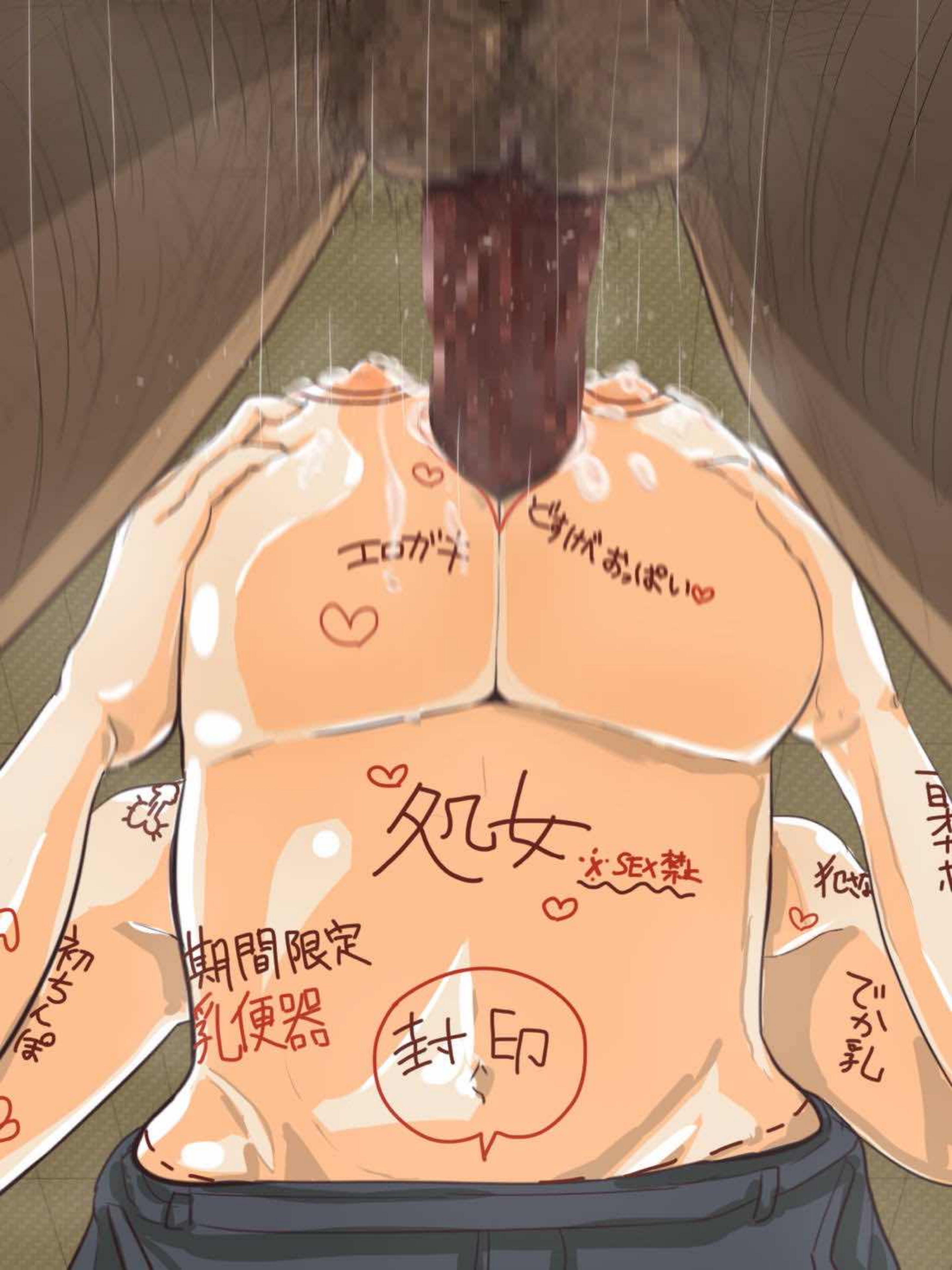
♡ ねえ

アジ









エロガキ

どすげおほい

処女

SEX禁止

期間限定
乳便器

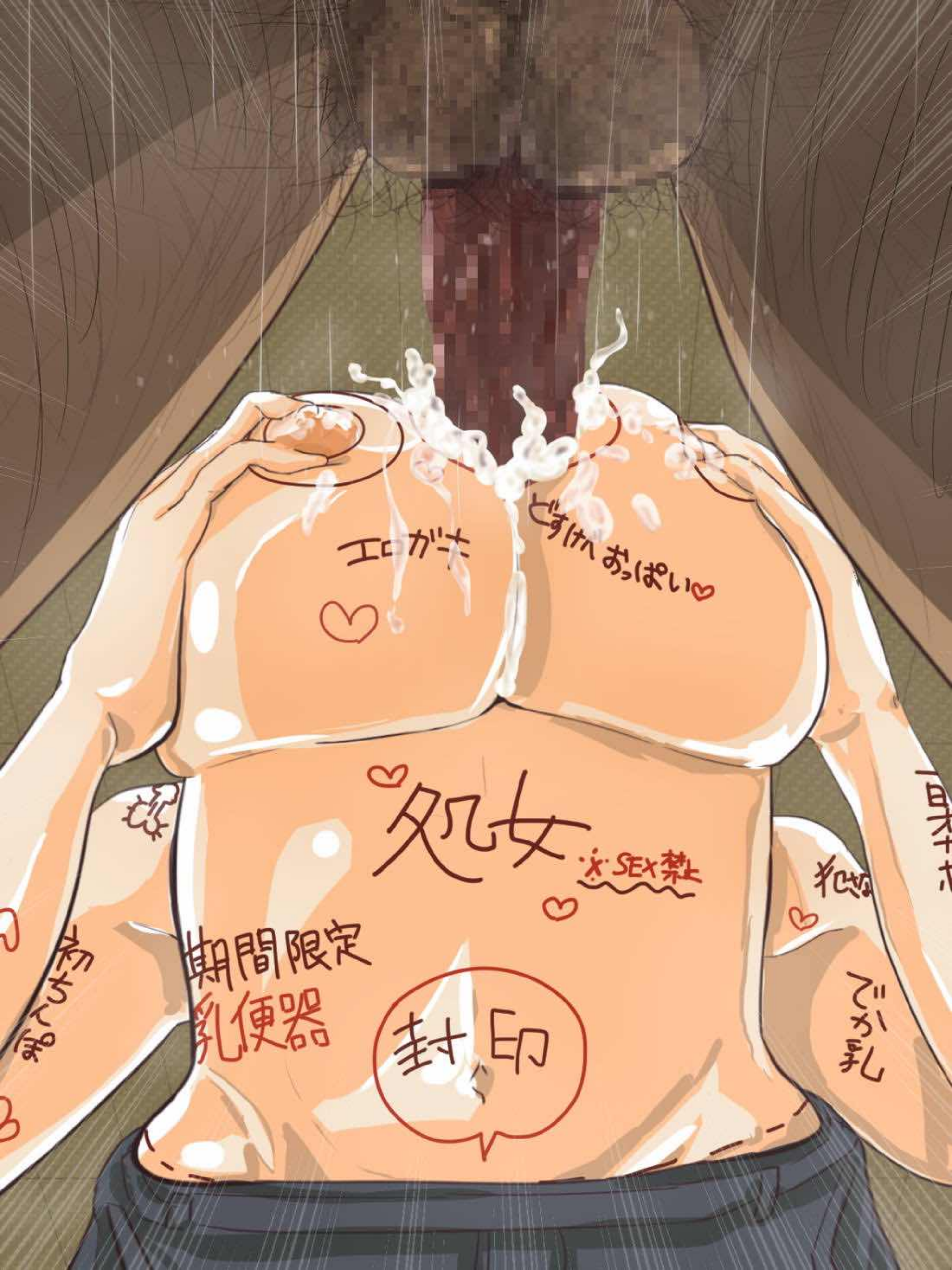
封印

犯姦

こが乳

挿入

目撃



エロガキ

どすけおっほい♡



♡ 処女

SEX禁止



期間限定
乳便器



犯姦



こが乳

挿入系





B

B

中

用

邦

國

回



B

B

中

用

回

国

回



B

B

中

用

回

回

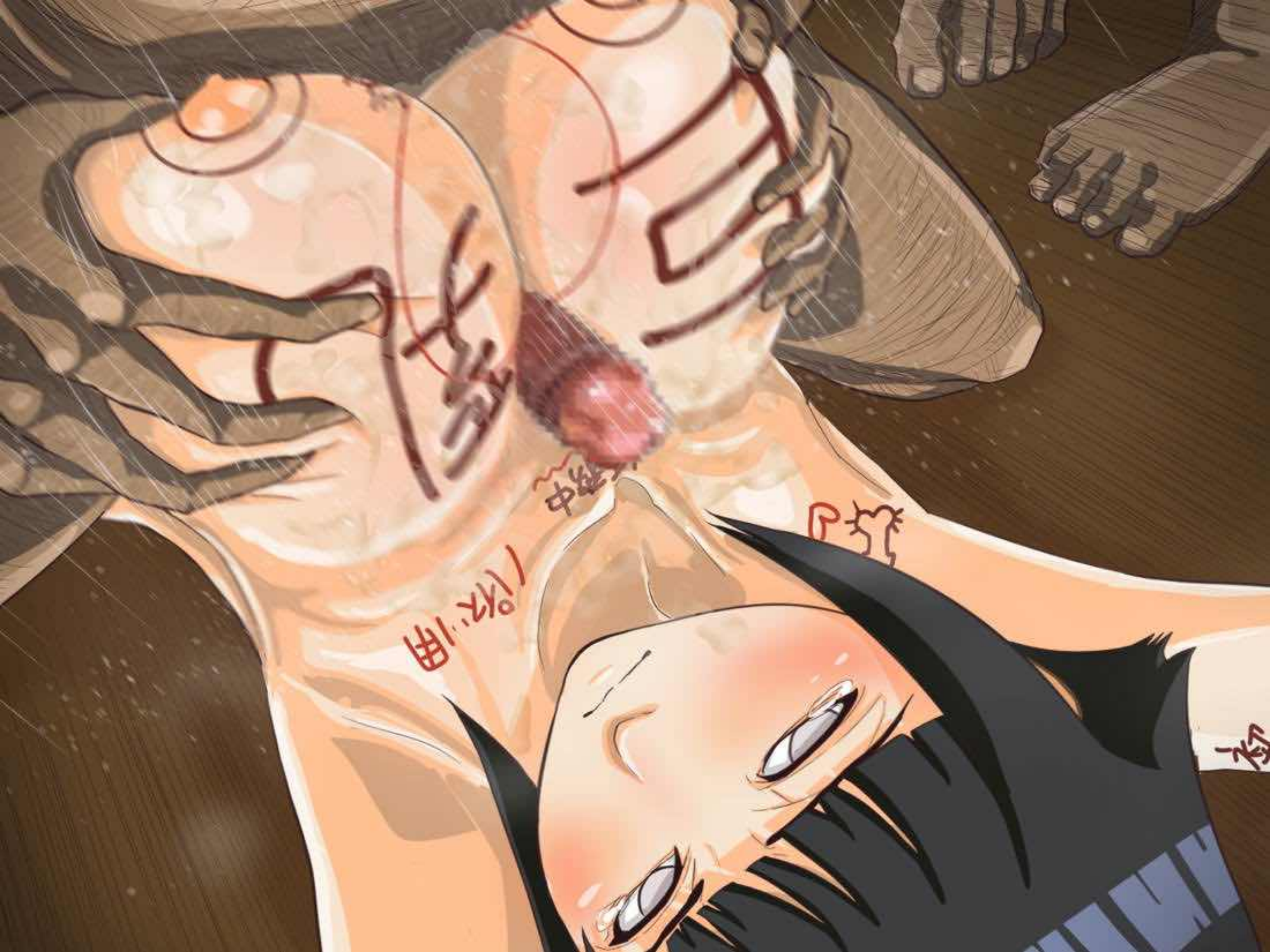
回











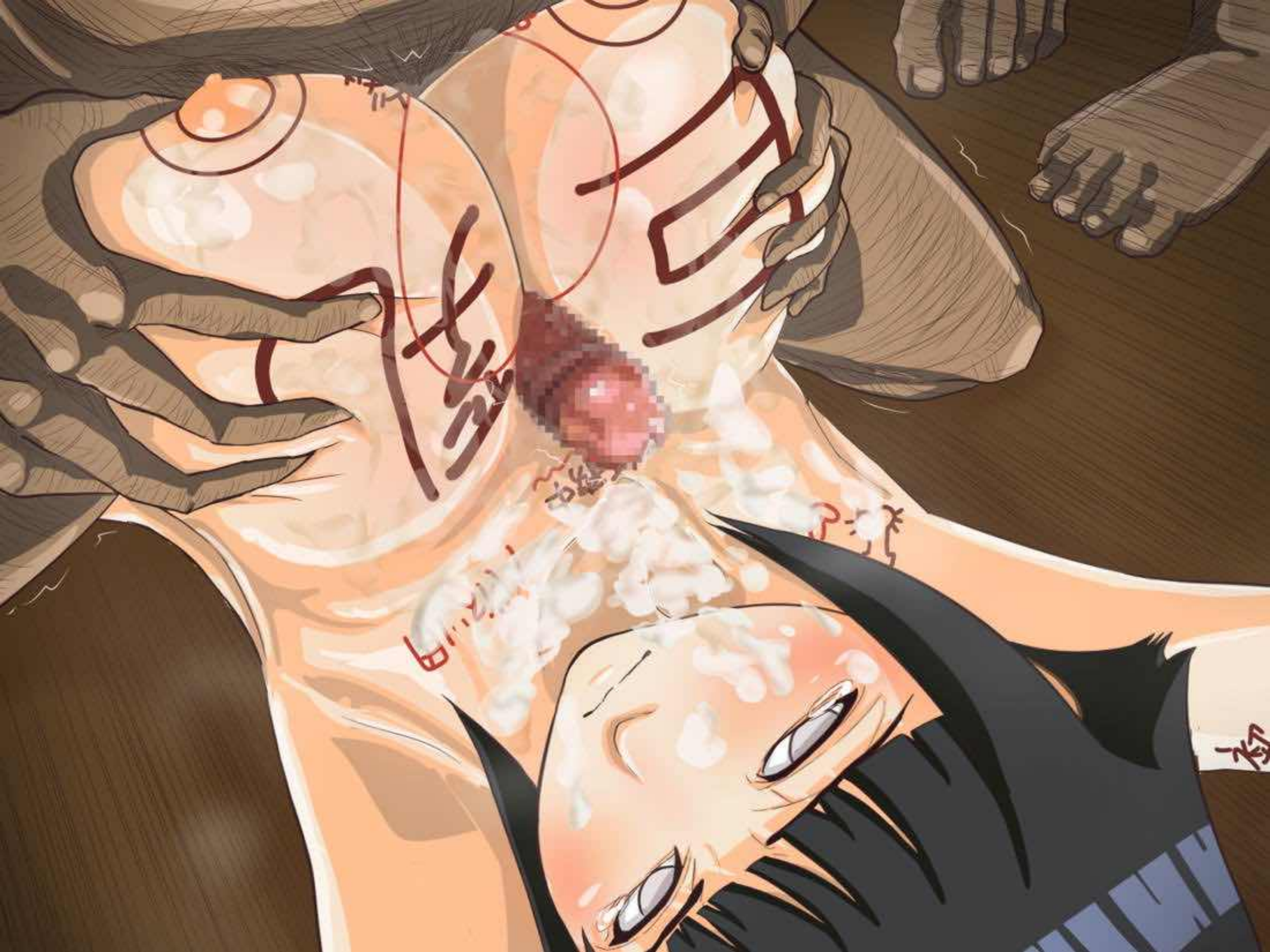
中

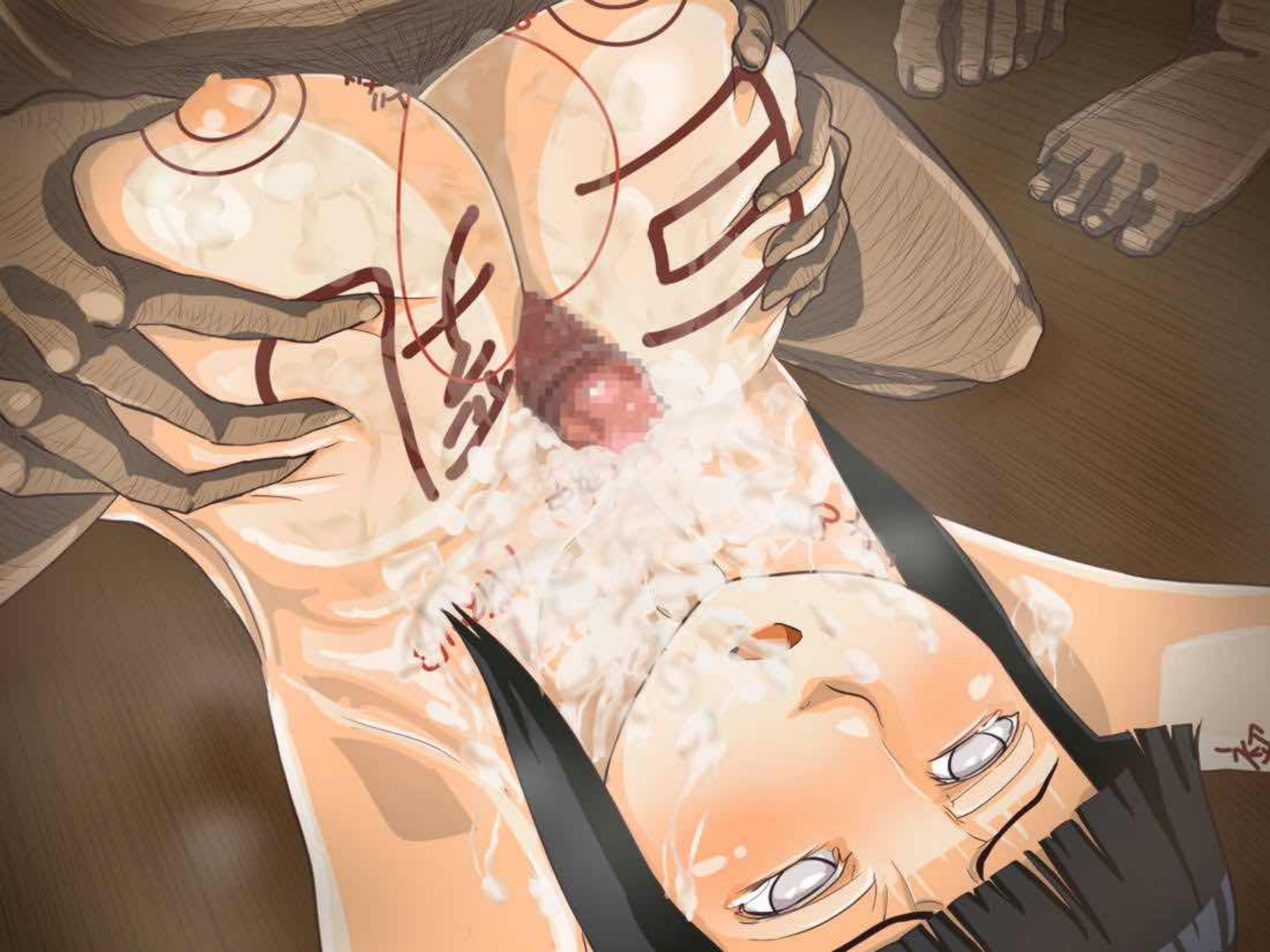
中

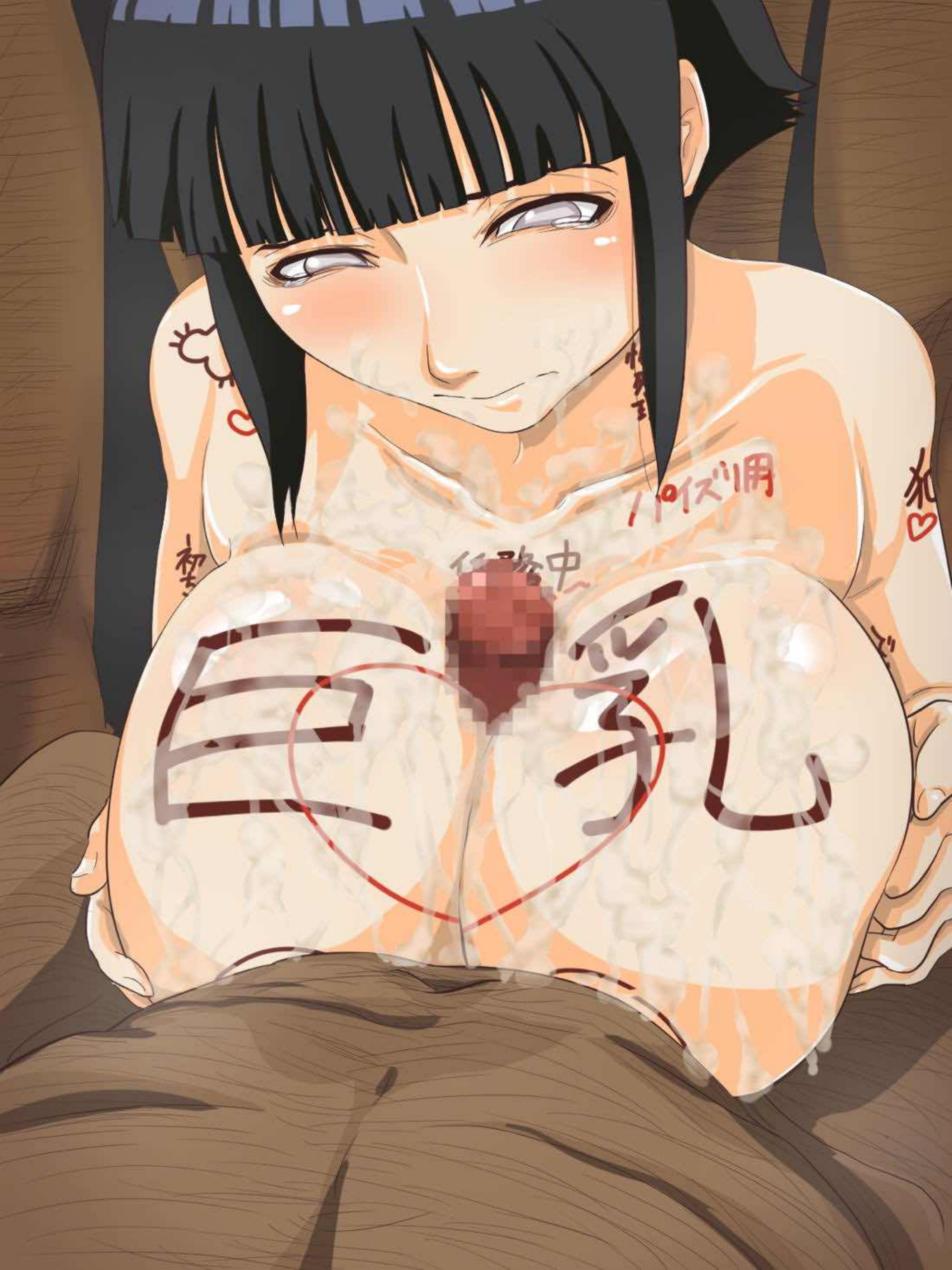
中

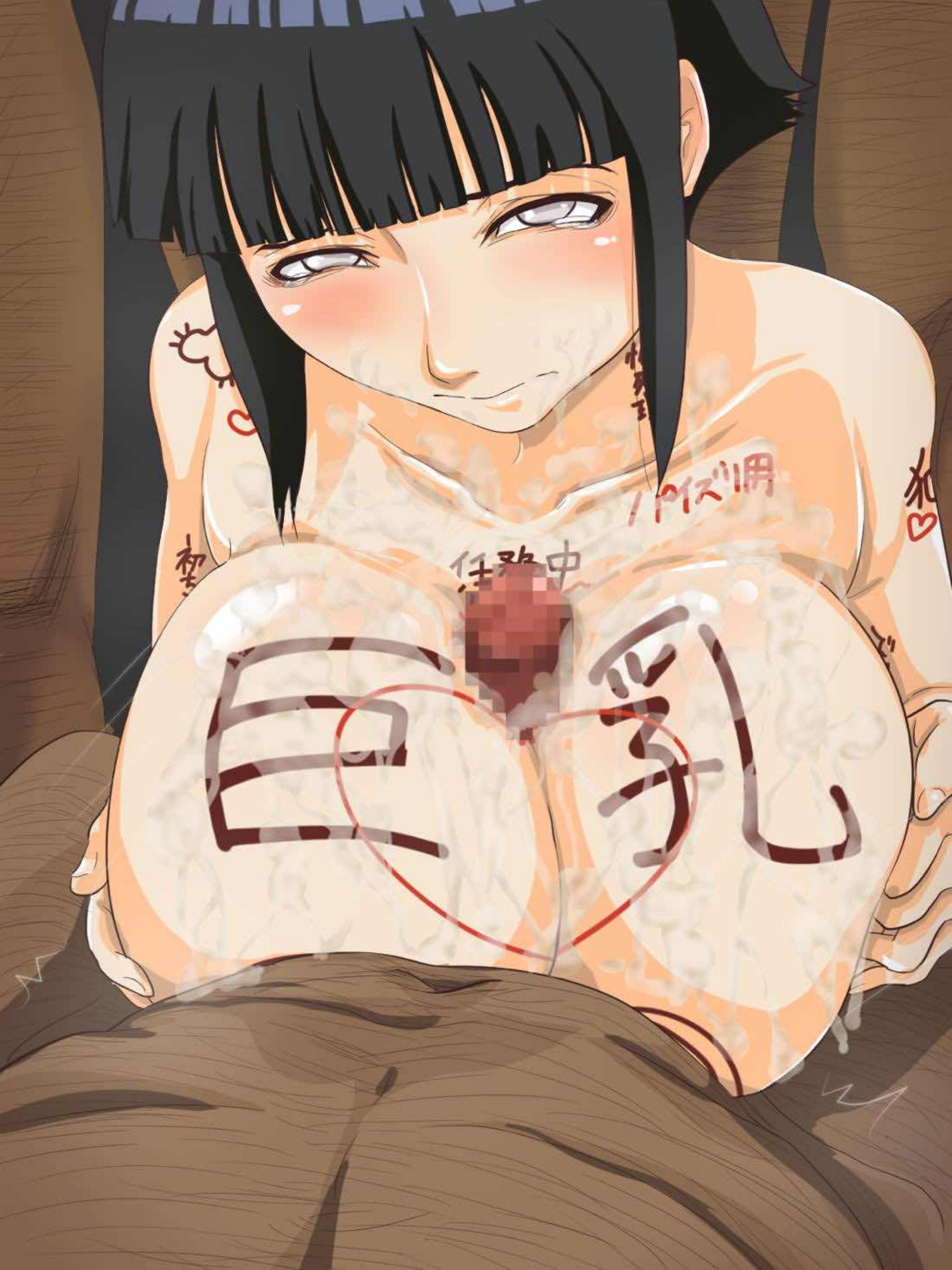
中











初音

初音

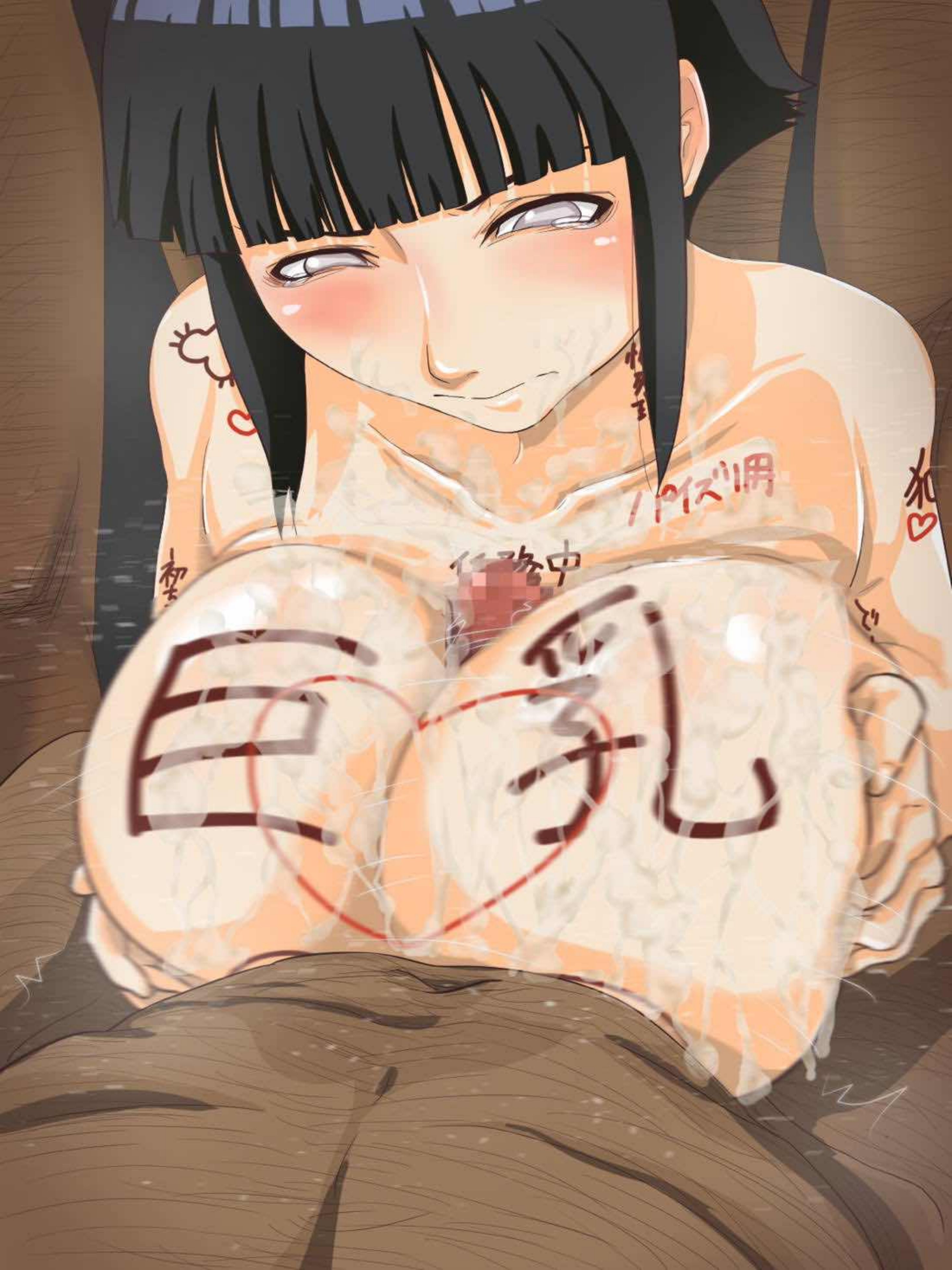
任職中

1/12/11

和心

目

心丸



初

初

任務中

1/12/11

和
♡

目

乳



心

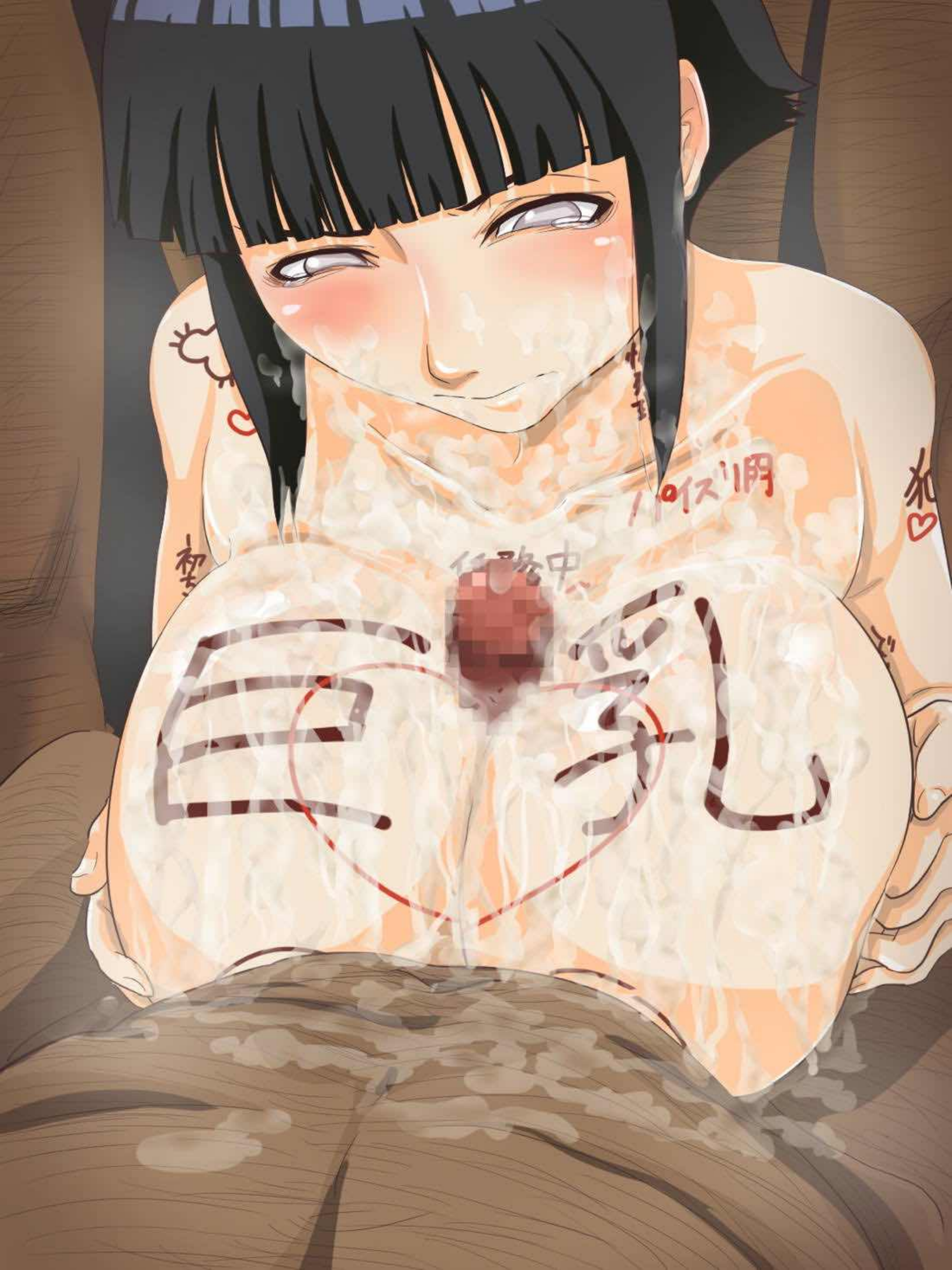
心

心

心

心

心



初志

初志

任務中

初志

初志





初体験

初体験

心

使用中

110%使用

巨

乳

巨乳

どすけいおん

心

処女

SEX禁止

便器

封印

精液

封印



初見

初見

110% 不用

任職中

巨乳

乳

巨乳

どすけいおん

巨乳

処女

SEX禁止

便器

封印

精液

巨乳



理

1ピース

任務中

子

犯

と



理

1パイズリ用

子し

♡ 犯子

と



三
処
理

1サイズ

子

♡ 犯

と



料理

1ピース用

子し

♡ 犯

と



処理

1サイズ

乳

♡ 犯

と



処理

1サイズ

任務中

子乳

犯

ごめ



初め

初め

使用中

乳

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

処女

SEX禁止

便器

封印

精液

おっぱい



初夜 ♡

初夜

処女

封印

処女

♡ 処女 ♡

♡ 処女 ♡

SEX禁止

封印

初夜

初夜

